

事務事業評価報告書

令和8年3月

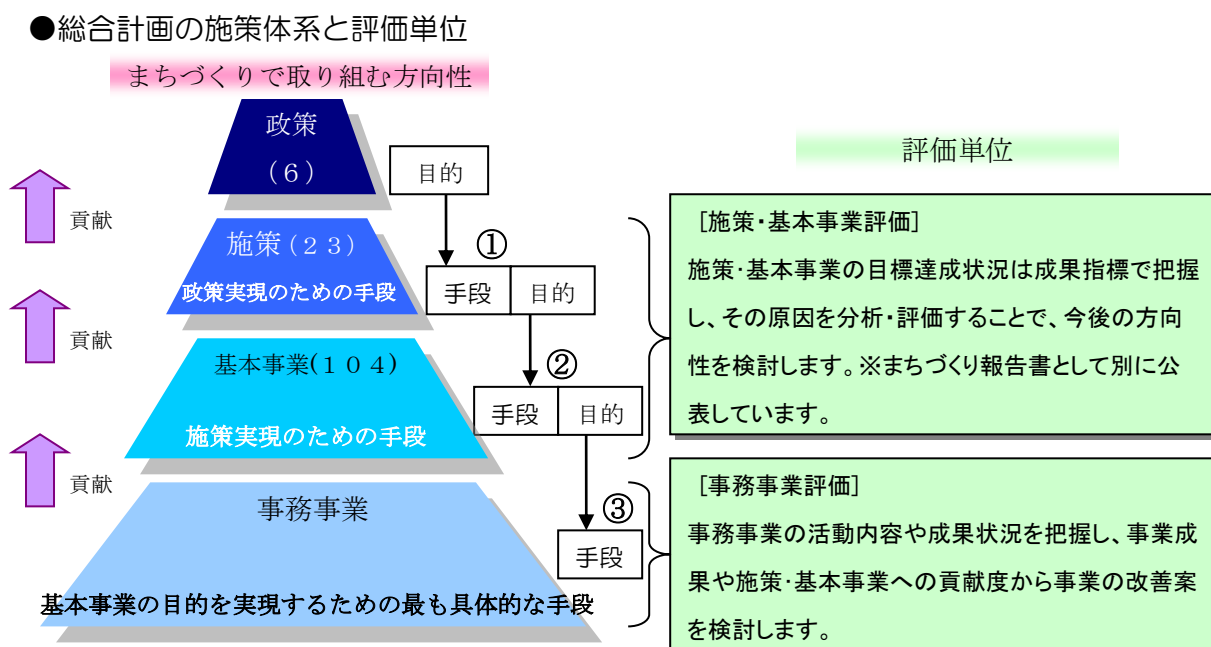
山武市

1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として23の「施策」を設定し、さらに施策を104の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

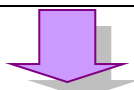
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

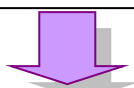
① 事業課の評価(1次評価)

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価(2次評価)

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局(総務課・財政課・企画政策課の合同組織)と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和6年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 127 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2024」、「令和6年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

■ 令和6年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路・橋りょうの整備・維持管理					
			作田川関連市道整備事業	土木課	8
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	9
			橋梁長寿命化修繕事業	土木課	10
3 駅周辺の利便性の向上					
			成東駅南口線整備促進事業	都市整備課	11
			成東駅北側道路整備事業	都市整備課	12
4 公園の再整備と適正な管理					
			成東城跡公園維持管理事業	都市整備課	13
			さんぶの森公園管理事業	スポーツ振興課	14
			さんぶの森公園改修事業	スポーツ振興課	15
5 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用					
			地籍調査事業	土木課	16
			空家等対策事業	都市整備課	17
2 持続可能な公共交通網の整備の推進					
1 市内における交通手段の確保					
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	18
2 バスでの成田空港方面へのアクセス向上					
			空港シャトルバス利用促進事業	空港地域振興課	19
3 災害に強い強靱なまちづくりの推進					
2 地域防災力の向上					
			自主防災組織育成事業	消防防災課	20
3 災害対応力の向上					
			防災行政無線再整備事業	消防防災課	21
4 強靱化対策の推進					
			防災用設備整備事業	消防防災課	22
			宅地耐震化推進事業	都市整備課	23
5 消防力の充実					
			消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	24
			消防団運営事業	消防防災課	25
2 住みやすい環境と安全なまちづくり					
1 生活環境の充実					
3 航空機騒音等の対策					
			防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業	空港地域振興課	26
			共同利用施設等施設改修事業	空港地域振興課	27
			航空機騒音対策空調機器設置事業	空港地域振興課	28
			テレビ共同受信施設撤去事業	空港地域振興課	29
2 脱炭素・循環型社会の形成					
1 地域脱炭素化の推進					
			木育推進事業	農政課	30
			地球温暖化防止対策事業	環境保全課	31
			省エネルギー等対策事業	環境保全課	32

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			2 3Rの推進とごみ処理の適正化		
			ごみ収集事業	環境保全課	33
			3 汚水処理の推進		
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	34
			4 防犯・交通安全の推進		
			3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理		
			防犯灯維持管理事業	市民自治支援課	35
			4 消費者トラブルの防止		
			消費生活相談事業	商工観光課	36
			3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
			1 農林水産業の振興		
			1 経営の安定化の推進		
			経営所得安定対策推進事業	農政課	37
			2 担い手の育成・支援		
			認定農業者育成事業	農政課	38
			地域農業経営支援事業	農政課	39
			3 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大		
			オライはすめま管理運営事業	商工観光課	40
			4 農業基盤整備の推進		
			農業水路等長寿命化・防災減災事業	農政課	41
			ほ場整備事業	農政課	42
			5 森林再生の推進		
			サンプスギ林総合対策事業	農政課	43
			自治体連携森林整備事業	農政課	44
			99 施策の総合推進		
			農業委員会運営事業	農業委員会事務局	45
			2 商工業の振興と地域経済活性化		
			1 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進		
			中小企業運営資金利子補給事業	商工観光課	46
			エコミックガーデニング推進事業	商工観光課	47
			商店等魅力発信事業	商工観光課	48
			2 工業の振興		
			企業誘致促進事業	企画政策課	49
			3 成田空港経済圏の形成		
			UIJターンによる起業・就業者等創出事業	企画政策課	50
			3 観光の振興		
			2 海岸を活用した観光推進		
			海岸施設維持管理事業	商工観光課	51
			美しい海水浴場次世代継承事業	商工観光課	52
			4 だれもが生きがいをもち安心して暮らせるまちづくり		
			1 高齢者福祉の充実		
			1 生きがいづくりと介護予防の推進		
			介護予防サービス計画作成委託事業	高齢者支援課	53
			2 暮らしを支えるサービスの充実		
			緊急通報ネットワーク事業	高齢者支援課	54
			2 障がい者(児)福祉の充実		

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			1 自立支援サービスの促進		
			障害者自立支援事業	社会福祉課	55
			3 発達が気になる子への支援		
			障害児通所等支援事業	社会福祉課	56
			3 健康づくりの推進		
			2 健診の受診率向上と生活習慣の改善		
			がん検診事業	健康支援課	57
			6 医療体制の充実		
			地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	58
			4 子育ての支援		
			1 幼保機能の充実		
			幼稚園施設整備事業	子育て支援課	59
			こども園施設整備事業	子育て支援課	60
			3 子育て不安の軽減		
			子育て世代包括支援センター等事業	健康支援課	61
			産婦健診等事業	健康支援課	62
			4 子育て家庭への援助		
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	63
			子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	子育て支援課	64
			6 次世代育成に係る家族形成の支援		
			三世帯同居等支援事業	企画政策課	65
			結婚応援事業	企画政策課	66
			5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進		
			3 生活困窮者自立支援の充実		
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	67
			物価高騰支援給付金給付事業	社会福祉課	68
			物価高騰対策給付金給付事業	社会福祉課	69
			4 生活保護制度の適正な実施		
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	70
			5 生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり		
			1 学校教育の充実		
			1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
			小学校用備品整備事業(管理)	子ども教育課	71
			中学校用備品整備事業(振興)	子ども教育課	72
			外国人英会話授業支援事業	子ども教育課	73
			英語教育推進事業	子ども教育課	74
			4 ICT教育の実践		
			ICTサポート事業	子ども教育課	75
			学校教育DX推進事業	子ども教育課	76
			5 教育環境の整備		
			通学バス運行事業	教育総務課	77
			小学校施設改修事業	施設整備課	78
			成東中学校新校舎整備事業	施設整備課	79
			成東学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	80
			山武学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	81
			学校給食センター施設整備事業	学校給食センター	82

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			6 地域と学校の協力体制の推進		
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	子ども教育課	83
			2 生涯学習の推進		
			2 生涯学習施設の利用促進		
			成東文化会館施設管理事業	文化会館	84
			成東中央公民館施設管理運営事業	公民館	85
			環境改善センター施設管理事業	公民館	86
			松尾公民館施設管理事業	公民館	87
			松尾図書館施設管理事業	図書館	88
			3 文化財の保護・活用		
			歴史民俗資料館管理運営事業	歴史民俗資料館	89
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	90
			5 青少年の育成		
			少年海外派遣支援事業	生涯学習課	91
			3 スポーツの振興		
			1 スポーツ活動の充実		
			スポーツ協会補助事業	スポーツ振興課	92
			3 体育施設の利用促進		
			蓮沼スポーツプラザ施設改修事業	スポーツ振興課	93
			成東総合運動公園施設改修事業	スポーツ振興課	94
			さんぶの森体育施設等改修事業	スポーツ振興課	95
			4 人権尊重のまちづくり		
			1 人権教育・人権啓発の推進		
			子ども人権(CAP)事業	子育て支援課	96
			2 人権擁護の推進		
			人権相談事業	市民自治支援課	97
			6 市民と行政が協働してつくるまちづくり		
			1 協働と交流によるまちづくり		
			2 市民活動の活性化		
			地域まちづくり事業	市民自治支援課	98
			3 協働のまちづくり推進の仕組みづくり		
			SDGs宣言制度導入事業	企画政策課	99
			2 開かれた市政とまちの魅力発信		
			1 広報の充実		
			ホームページ運営事業	秘書広報課	100
			市勢要覧作成事業	秘書広報課	101
			3 市の魅力発信の強化		
			ふるさと納税推進事業	企画政策課	102
			さんむの魅力発信事業	秘書広報課	103
			4 議会情報の公開の推進		
			議会改革推進事業	議会事務局	104
			議場音響設備等改修事業	議会事務局	105
			3 計画的・効率的な行財政運営		
			1 行政経営の推進		
			行政評価制度推進事業	企画政策課	106
			2 人材育成と効率的な組織運営		

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			職員研修事業	総務課	107
			人事評価事業	総務課	108
			組織体制見直し事業	総務課	109
			定員適正化推進事業	総務課	110
			ワークライフバランス推進事業	総務課	111
			受付案内事業	総務課	112
			3 健全な財政運営		
			指定管理者指定事業	企画政策課	113
			予算管理事業	財政課	114
			基金管理事業	財政課	115
			4 税収の確保		
			滞納整理事務事業	収税課	116
			市税等徴収事務事業	収税課	117
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		
			公共施設マネジメント事業	総務課	118
			本庁舎整備事業	財政課	119
			庁用車適正配置事業	財政課	120
			さんぶの森交流センターあらかぎ館施設管理事業	山武出張所	121
			蓮沼出張所管理運営事業	蓮沼出張所	122
			6 自治体DXの推進と市民サービスの向上		
			情報通信機器管理事業	企画政策課	123
			99 施策の総合推進		
			例規・法制支援事業	総務課	124
			4 公正確実な事務の執行		
			1 適正な会計処理		
			出納係事務費	会計課	125
			3 監査の充実		
			監査委員活動費	監査委員事務局	126
			5 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理		
			戸籍事務費	市民課	127
			窓口サービス向上事業	市民課	128
			山武出張所事務費	山武出張所	129
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	130
			松尾出張所事務費	松尾出張所	131
			6 公平・公正な課税		
			個人住民税賦課事業	課税課	132
			固定資産税賦課事業	課税課	133
			99 総合推進		
			1 政策の総合推進		
			1 総合推進		
			定額減税調整給付金給付事業	企画政策課	134

事務事業名 作田川関連市道整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 15 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 619

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ね市道整備を行います。
現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。
事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円
架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5.28Km
市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
用地交渉回数	回	4	8	20
成果状況				
用地取得済面積	m ²	7,013.2	7,451.2	7,600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,873	0	0	0	0	1,873	
06年度 実績	13,927	0	0	10,100	0	3,827	
07年度 当初	6,048	0	0	0	0	6,048	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 用地交渉を継続的に行い用地を取得しているが、全体計画通りに取得出来ておらず、市道整備事業が遅延しています。
< 原因 > 千葉県主体の作田川改修事業であり、用地取得の条件が整わず、交渉が難航しているのが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	1.65	3.24	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	4	5	0

事務事業名 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 09 年度		事務事業整理番号 1797

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。
 整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m
 総事業費 452,000千円
 平成26年度 用地測量、設計
 平成27年度 設計、関係機関協議
 平成28年度 工事着手
 平成29年度～
 令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事
 令和4年度 用地買収、工事 令和5年度 用地買収、工事
 令和6年度 用地買収、工事 令和7年度 用地買収、工事
 令和8年度 工事 令和9年度 工事完了予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
年度当たりの市道改良延長	m	100	0	160
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	1,087	1,087	1,467

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	19,326	8,983	0	9,800	0	543	46,238
06年度 実績	20,000	9,900	0	9,500	0	600	30,757
07年度 当初	70,202	22,000	0	45,700	0	2,502	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 市道改良延長は0mです。
 <原因> 工事は順調に進んでおりますが、関係部署との協議に時間を要し、約250mの道路改良工事を令和7年度に繰越したことから、改良延長には計上しておりません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	1.65	3.24	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	4	5	0

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1826

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

橋りょう通行者の安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市が管理する橋梁について、平成25年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。道路交通の安全性を確保するため、目視等の点検を実施し、計画見直しを行います。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
年間橋梁修繕件数	件	4	0	2
成果状況				
橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	0	0
年間の橋梁点検件数	件	56	12	39

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	44,501	13,371	0	4,900	0	26,230	20,094
06年度 実績	34,407	16,318	0	7,500	0	10,589	
07年度 当初	67,125	32,450	0	2,400	0	32,275	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 年間の橋梁点検件数は、令和 5 年度より78.6%減少していますが、計画どおりに実施できており順調です。
 < 原因 > その理由としては、計画件数そのものが少なかったことのほか、契約事務及び受託事業者との連絡調整を円滑に行ったことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	1.65	3.24	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	4	5	0

事務事業名 成東駅南口線整備促進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	03	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 10 年度		事務事業整理番号 1548

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・都市計画道路
--

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東駅南口へのアクセス向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

<p>千葉県が実施する成東駅南口線（都市計画道路）の道路整備費の一部を市が負担します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 負担金額の協議 2 負担金協定の締結 3 負担金協定に基づく負担金額の支出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
年度当たりの整備率（事業費ベース）	%	12.1	7.5	100
成果状況				
満足度	%	64.3	61.1	64
全体整備率（事業費ベース）	%	71.64	50.52	56.18

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,161	0	0	2,000	0	161	
06年度 実績	740	0	0	700	0	40	
07年度 当初	14,325	0	0	13,600	0	725	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 駅周辺の利便性に対する満足度は61.1%で、昨年度実績より3.2ポイント低下しました。全体整備率は50.52%で、昨年度実績より21.1ポイント低下しました。</p> <p>< 原因 > 駅周辺の利便性に対する満足度について、事業進捗に遅延が生じていることが、低下の要因と考えられます。全体整備率の低下については、令和6年度から事業認可が5年間延伸となり全体事業費が増加したことで大幅な低下となっています。</p>

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	%	64.3	61.1	64

事務事業名 成東駅北側道路整備事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	03	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	令和 05 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2208

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・成東駅北側道路

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路整備事業により消防活動困難地域の解消や通学路の安全確保につながり市の住環境が改善されるとともに、成東駅周辺の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

【事務事業の内容】

道路整備に向けた事前調査を行います。

【やり方・手順】

- ・地質調査業務、路線測量業務（中心線測量、縦横断測量）
- ・土地利用方針検討、軟弱地盤解析業務
- ・道路設計業務
- ・関係機関協議
- ・国庫補助要望
- ・用地交渉、用地買収
- ・整備工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
業務委託の完了数	件	0	0	2
年度当たりの整備延長	m	0	0	0
成果状況				
工事着手までの進捗率	%	0	0	50
整備工事完了までの進捗率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	473	0	0	0	0	473	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 都市計画道路の決定変更に係る関係機関協議が整わず、事業全体の進捗に遅延が生じています。
 < 原因 > 関係機関協議が整わなかったため、予定していた地質調査業務、路線測量業務を発注できなかったことが進捗遅延の原因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	%	64.3	61.1	64

事務事業名 成東城跡公園維持管理事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	公園の再整備と適正な管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 647

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東城跡公園の維持管理を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

快適で安全な公園を維持、管理します。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 公園全体における維持保全を行います。
2. 主な施設の通常管理、修繕を行います。
 - ・ 樹木等維持管理(業務委託)
 - ・ 年間を通しての樹木の剪定及び除草・消毒等
 - ・ トイレ清掃等(業務委託)
 - ・ 浄化槽維持管理
 - ・ 公園内施設管理
 - ・ 駐車場管理

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
除草・樹木の剪定等実施件数	件	11	10	8
施設修繕・工事件数	件	2	4	3
成果状況				
維持管理上の不具合・トラブル件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	18,060	0	0	0	72	17,988	
06年度 実績	23,392	0	0	0	6,959	16,433	
07年度 当初	17,493	0	0	0	0	17,493	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 維持管理上の不具合やトラブルもなく、適正に管理されています。
 < 原因 > 公園利用者に対して老朽化した施設の工事等を行い、また、定期的に除草や樹木管理も実施しており、良好な公園環境が維持されています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)	箇所	0	2	4
公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	0	0

事務事業名 さんぶの森公園管理事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	公園の再整備と適正な管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1032

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園
ふれあいセンター（図書館及びホール）、グリーントワーを含む。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森公園の施設について、適切な維持管理を行うことにより、利用者へ安全で快適な施設を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

保守点検や施設及び備品等の維持管理を実施することにより、適正な施設の保全を図ります。
また、維持管理にあたっての日常管理については、会計年度任用職員及び業務委託により実施します。

- 主な点検
- ・電気・消防設備・空調設備・公園遊具・ホール機器修繕及び工事
 - ・点検結果及び老朽化、故障箇所についての修繕、工事
- 主な業務委託
- ・清掃・警備・浄化槽管理・夜間管理・樹木管理・山林管理

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
公園（施設を含む）の修繕件数	件	5	3	5
成果状況				
公園の事故発生件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	34,220	0	0	0	6,648	27,572	
06年度 実績	32,034	0	0	0	5,887	26,147	
07年度 当初	36,941	0	0	0	4,941	32,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 施設管理として適時、修繕、工事を行っており、公園内の事故もなく順調です。
< 原因 > 公園内の事故が発生しなかったことについては、施設維持に係る保守や日常管理が行われています。また、保守や日常管理、点検結果において、適時、修繕や工事の対応が実施されたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
遊具設置等の再整備をした公園数（計画期間累計）	箇所	0	2	4
公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	0	0

事務事業名 さんぶの森公園改修事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	公園の再整備と適正な管理
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2074

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森公園の施設維持管理を実施するにあたり、老朽化した施設について改修工事等を行うことにより、施設保全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森公園について、施設維持の健全化や利便性の向上を図るため、老朽化した施設について計画的に改修工事等を実施します。

- 令和6年度
 - 遊具撤去及び設置工事（各3基）
 - 休憩施設及び炊事場屋根等塗装工事設計業務委託
- 令和7年度
 - 休憩施設及び炊事場屋根等塗装工事監理業務委託及び工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
委託件数		0	1	1
工事件数		0	1	1
成果状況				
改修進捗率		0	30	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	6,182	0	0	0	495	5,687	
07年度 当初	10,010	0	0	0	10,010	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 遊具撤去及び設置工事を実施しました。休憩施設及び炊事場屋根等塗装工事設計業務を実施し、進捗率は30%となりました。

< 原因 > 工事に向けた設計業務を、受注者と協議をしながら進めたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)	箇所	0	2	4
公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	0	0

事務事業名 地籍調査事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	05	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 07 年度 ~ 令和 24 年度		事務事業整理番号 635

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市域の土地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

土地の境界と面積等が明確になり、正確な土地の状況が登記簿と公図に反映されます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武地区を対象として、土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。

- ・土地調査（公図・登記簿の閲覧）
- ・調査の協力依頼
- ・一筆地調査
- ・地積測定
- ・土地所有者による閲覧
- ・国・県の認証
- ・地籍図と地籍簿を法務局へ送付
- ・固定資産税に係る賦課資料を課税課へ送付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
地籍調査事業の協力依頼通知件数	通	390	820	1,220
立会い調査回数	回	344	613	600
成果状況				
地籍調査実施面積	km ²	0.74	0.62	2.01
地籍調査後の法務局に送付した筆数	筆	0	677	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	45,268	0	20,097	0	126	25,045	
06年度 実績	121,255	0	64,242	0	113	56,900	
07年度 当初	149,464	0	71,252	0	118	78,094	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 調査対象者数が増加したため、協力依頼の通知件数と立会い調査回数が増加しました。地積測量は当初計画通り木原（8）地区の0.62km²を順調に進めることができました。法務局への成果送付は計画通り椎崎（9）・矢部（1）地区の成果を送付することができました。

< 原因 > 令和6年度より2項委託方式の調査を開始し調査面積が広がったため、調査対象者数も増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
空家改善数（計画期間累計）	件	29	41	68
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 空家等対策事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	05	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1999

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、空家等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市空家等対策計画に基づく空家等対策事業の実施により、空家等が適正に管理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空家等対策計画に基づき以下のとおり空家対策を実施します。

- 空家の発生抑制・予防
- 啓発事業の実施、現地調査、助言書の通知
- 管理不全の解消
- 特定空家等の認定及び指導等の実施
- 利活用・市場流通の促進
- 空き家バンクの運用、啓発事業の実施
- その他
- 空家等対策協議会の開催
- 特定空家等の認定等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
空家対策協議会の回数	回	3	1	2
空家への通知、指導数	件	52	43	50
成果状況				
空家の相談件数	件	88	70	50
特定空家の認定数（累計）	件	10	10	14

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	6,931	165	0	0	0	6,766	
06年度 実績	5,255	143	0	0	0	5,112	
07年度 当初	1,661	615	100	0	0	946	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 空家の相談件数は70件で昨年度と比較して18件減少しました。特定空家の令和6年度新規認定件数は0件で累計認定数は10件となっており、成果状況は全体で見ると維持・横ばいとなっています。

< 原因 > 空家の相談件数については、本事業の実施により管理不全な空家の解消が図られていることから相談件数の減少に繋がったものと思われます。特定空家の認定数については、本事業の実施により特定空家化が未然に防止できたことで新規認定に至らなかったと考えられます。なお、令和6年度は既認定の特定空家1件の改善が図られています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
空家改善数（計画期間累計）	件	29	41	68
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	持続可能な公共交通網の整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
交通弱者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

日常生活の移動手段が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

・山武市地域公共交通活性化協議会へ補助金を交付し、協議会運営、基幹バス及び乗合タクシーの運行等を実施します。

・「山武市地域公共交通計画」に基づき、各交通手段の連携・維持向上を図り、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組みます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	28,425	29,085	29,085
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	219	220	220

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	81,790	0	0	0	81,790	0	
06年度 実績	78,515	0	0	0	67,905	10,610	
07年度 当初	87,000	0	0	0	0	87,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
基幹バス・乗合タクシーの1日あたりの利用者数は、前年と比べ1人増加し、0.5%増加しました。

<原因>
1日あたりの利用者数について、基幹バスは1人の増加、乗合タクシーの増減はありませんでした。乗合タクシーでは運賃改定後、少ない利用者数のまま推移しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）	人	130,356	126,242	126,000
バス運行状況の満足度	%	40	39.8	50

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	持続可能な公共交通網の整備の推進
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの成田空港方面へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図ります。
<バスの運行ルート等>
空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所）
大型バス2台で1日往復12便
乗車料金：1回300円（ICカード利用270円）
小学6年生まで及び障害者150円（ICカード135円）、小学6年生までの障害者80円（ICカード68円）、保護者同伴の乳幼児無料

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
年間運行のべ回数	本	8,760	8,745	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	5	4	4
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	23,043	23,109	30,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	58,833	0	0	13,100	9,000	36,733	
06年度 実績	28,630	0	0	0	0	28,630	
07年度 当初	32,176	0	0	0	0	32,176	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
空港シャトルバス利用者は令和5年度より66人増加しており順調です。
<原因>
空港従事者や、学生、観光客の利用が増えていることが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
成田空港方面への年間バス利用者数	人	20,222	19,871	26,500

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会
自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。
・結成した自主防災組織を対象に1組織当り40万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。
・自主防災組織の活動費として、世帯数に応じて補助金を交付します。
・自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	3	5	3
活動促進事業補助金交付件数	件	22	30	20
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	2	2	3
自主防災組織数（合計）	組織	92	94	97

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,757	0	853	0	790	114	
06年度 実績	1,516	0	757	0	759	0	
07年度 当初	3,255	0	1,277	0	700	1,278	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
自主防災組織数は昨年度と比較し2組織増加しており、順調です。
<原因>
近年、自然災害が激甚化、頻発化し全国各地で甚大な被害が発生しており、自助、共助の意識が高くなっていることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	92	94	102
自主防災組織の訓練実施割合	%	21.7	29.8	30
個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)	%	2.4	7.3	100
避難所運営委員会設置割合	%	4.1	4.1	50

事務事業名 防災行政無線再整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	03	基本事業名	災害対応力の向上
計画年度	令和 06 年度 ~ 令和 12 年度		事務事業整理番号 2259

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
防災行政無線

事務事業の内容、やり方、手順

令和 6 年度 基本設計業務
令和 8、9 年度 詳細設計業務、現地調査等
令和10年度 再整備工事（1年目）
令和11年度 再整備工事（2年目）
令和12年度 再整備工事（3年目）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市に最適な防災行政無線システムを選定し、導入することで安定した運用が行えるとともに、防災・行政情報が市民に確実に伝達できるようになります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
防災行政無線再整備数			1	0
成果状況				
事業進捗率			30	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	5,060	0	0	0	0	5,060	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和 6 年度は基本設計を計画通り実施出来たため、事業の成果としては順調です。
<原因>
監督員の業務管理や請負業者の業務実施が順調であったことが要因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
職員訓練（機能別、避難所開設・運営等）回数	回	4	4	5
食糧・飲料・物品の備蓄率	%	88.3	90.2	100
災害情報発信システム・防災施設の不具合件数	件	1	0	0

事務事業名 防災用設備整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	強靱化対策の推進
計画年度	令和 06 年度 ~ 令和 06 年度		事務事業整理番号 2273

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
避難所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に市民が安心して避難所を利用することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

令和 6 年度 さんぶの森避難所機能の強化（GHP整備）
さんぶの森中央会館、さんぶの森武道館及びさんぶの森診療所の一部施設において、停電時でも空調、照明、コンセントの利用ができるようにGHP（ガスを燃料とした電源自立型空調）を整備しました。
また、これに併せて浄化槽用の非常用電源を整備しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
防災用設備整備数			1	0
成果状況				
事業進捗率			100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	63,244	0	0	63,200	0	44	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
実施設計通りに工事が進捗し非常用電源の整備が完了し、事業の成果としては順調です。
< 原因 >
監督員の工程管理や請負業者の工事の実施が順調であったことが要因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数（計画期間累計）	事業	5	11	9

事務事業名 宅地耐震化推進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	強靱化対策の推進
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2137

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大規模盛土造成地（33箇所）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

大規模地震の際に、地滑りによる崖崩れや土砂災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の災害対策として、基礎資料の整理や現地踏査等を行い、その結果、現地調査等が必要な場所についてはボーリングなどの地盤調査を実施します。

事務事業の内容、やり方、手順

計画準備
基礎資料収集整理
現地踏査
第二次スクリーニング優先度評価手法の検討
第二次スクリーニングの優先度評価
宅地カルテの作成
第二次スクリーニング計画の作成
第二次スクリーニングの実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
現地調査箇所数	箇所	2	2	3
成果状況				
事業実施に対する進捗率	%	90	95	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	10,569	3,271	0	0	0	7,298	
06年度 実績	11,802	3,287	0	0	0	8,515	
07年度 当初	21,670	6,468	0	0	0	15,202	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和4年度策定の大規模盛土造成地第2次スクリーニング計画において、優先的に調査すべきと位置づけられた2宅地のボーリング調査等（第2次スクリーニング）を実施しました。事業は順調に進んでいます。

< 原因 > 調査箇所の地元調整等を丁寧に進めたことなどにより、当初のスケジュールどおり令和6年度事業は完了しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数（計画期間累計）	事業	5	11	9

事務事業名 消防ポンプ車等整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	05	基本事業名	消防力の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 4

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防ポンプ車等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

消防車の更新期間の目安を23年としていることから、車両状態に応じて順次更新整備を行います。

年度別更新計画
ポンプ車 小型ポンプ付積載車
令和6年度 1台 1台

令和6年度に発注した消防車2台については、シャシの品薄などの状況により繰越明許を設定し、令和7年度に整備されます。
令和6年度については、令和5年度に発注した2台の消防車が整備されました。（繰越明許）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
使用年限到来による更新台数	台	1	2	2
成果状況				
使用年数23年以上経過した台数	台	4	5	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							17,896
06年度 実績							45,468
07年度 当初	64,460	0	0	48,300	0	16,160	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 新規登録から23年が経過する消防車両の整備を年度内に完了することが出来ませんでした。
< 原因 > 消防車のシャシの品薄などから繰越明許を設定し対応（2カ年契約）していることが主な原因です。
令和6年度については、令和5年度に繰越明許を設定し発注した消防車2台が整備されました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
火災の損害額	千円	68,008	112,574	0
火災による死者数	人	2	0	0

事務事業名 消防団運営事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	05	基本事業名	消防力の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 9

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防団
消防団員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消防力を高めることにより、市民の生命、身体、財産を災害から守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

消防団員の各種訓練等を行います。
4月～3月 役員会議
5月 部長・初任者訓練
6月 山武消防ポンプ操法大会
7月 千葉県消防操法大会
10月 合同中継訓練
11月 幹部研修
12月 出初式に係る訓練、歳末夜警
1月 出初式予行、出初式
3月 消防大会
その他 各地区で中継訓練

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
火災出動人員数（当該年度）	人	1,503	1,681	1,681
火災出動車両数（当該年度）	台	300	345	345
成果状況				
火災1件当りの出動人員（当該年度）	人	30	34	34
火災1件当りの出動台数（当該年度）	台	6	7	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	47,293	0	0	0	1,573	45,720	
06年度 実績	49,148	0	0	0	0	49,148	
07年度 当初	65,607	3,201	0	0	0	62,406	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 1件あたりの出動人員及び出動台数とも令和5年度の実績より若干向上しました。
< 原因 > 機能別団員制度の導入や出動報酬を個人支給に改めたことが原因の一つと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
火災の損害額	千円	68,008	112,574	0
火災による死者数	人	2	0	0

事務事業名 防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 19 年度 ~ 令和 07 年度		事務事業整理番号 114

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成田国際空港（株）の助成による空調器設置者〔騒防法第1種区域内〕
 （財）成田空港周辺地域共生財団の助成による空調器設置者〔隣接区域内及び騒防法第1種区域内〕

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により指定された騒防法第1種区域及び財）成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域内で、成田国際空港(株)及び成田空港周辺地域共生財団の助成を受けて設置した冷暖房設備の維持管理費の軽減を図るため当該設置者に補助金を交付します。

1月 該当予定者に申請通知
 1月～2月 申請受付
 3月 交付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
補助金申請件数	件	1,214	1,132	1,250
成果状況				
補助金交付件数	件	1,214	1,132	1,250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	78,244	0	0	0	75,610	2,634	
06年度 実績	79,140	0	0	0	77,381	1,759	
07年度 当初	84,610	0	0	0	0	84,610	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度は1,132件交付し、令和5年度と比べ82件低下しました。
 < 原因 > 転出・転居により、交付対象者が減少したためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.9	80

事務事業名 共同利用施設等施設改修事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 23 年度 ~ 令和 07 年度		事務事業整理番号 1474

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

地区共同利用施設
コミュニティ施設
施設利用対象市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

円滑に施設が利用され、重大事故の未防止など施設の利用上の安全確保が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

航空機騒音対策事業費交付金の交付対象地区から修繕の要望のあった施設について、緊急性や事業規模を確認したうえで実施年度の計画を構築し、修繕を行います。

手順

3月～4月 施設所在地区の区長等（館長含む）に修繕箇所等の有無照会及び状況の聞き取り
4月～5月 要望箇所の現地確認及び区長等との協議
6月～ 実施計画の構築（実施年度・事業規模等）
翌年度実施分予算要求
翌年4月～ 当該年度実施施設について区長等への説明後に事業発注

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
区長等との協議回数（共同利用施設）	回	12	16	10
区長等との協議回数（コミュニティ施設）	回	8	9	10
成果状況				
共同利用施設改修件数	件	5	2	5
コミュニティ施設改修件数	件	6	7	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	46,067	0	0	0	18,409	27,658	
06年度 実績	39,621	0	0	0	13,553	26,068	1,430
07年度 当初	87,011	0	0	55,600	6,678	24,733	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 共同利用施設及びコミュニティ施設の修繕要望は年々増加しています。
< 原因 > 施設の経過年数の関係で、修繕箇所が増えています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.9	80

事務事業名 航空機騒音対策空調機器設置事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1766

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部の住民（航空機騒音の影響を受ける地域）
ただし、成田国際空港（株）及び（財）成田空港周辺地域共生財団による民家防音工事対象住宅を除く

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

航空機騒音が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた航空機騒音の影響を受ける地域（松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部）の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設置する工事を実施した者に補助金を交付します。
（平成28年度以前に実施した事業を令和元年度から対象等を変更して実施）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
補助金額	千円	14,482	17,157	24,000
成果状況				
空調機器補助台数（単年度）	台	182	215	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	14,526	0	0	0	12,705	1,821	
06年度 実績	17,158	0	0	0	17,039	119	
07年度 当初	23,200	0	0	0	1,450	21,750	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度の補助台数は215台で、令和5年度と比べ33台増加しました。
< 原因 > 豊岡地区及び五反田地区の補助対象エリアに居住している未申請者に対し、制度案内を送付したためと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.9	80

事務事業名 テレビ共同受信施設撤去事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1923

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

N A A からテレビ共聴施設の譲渡を受け市内に設立されたテレビ共同受信施設組合

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

不要となる施設の撤去に係る、組合の費用負担が軽減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

組合の解散により不要となるテレビ共同受信施設の撤去に要する費用に対して補助金を交付します。

手順
 補助金申請（組合）
 交付決定（市）
 不要施設撤去実施（組合）
 実績報告（組合）
 交付額確定（市）
 補助金請求（組合）
 補助金交付（市）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
交付決定件数		1	8	5
成果状況				
補助金交付件数		1	8	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	5,026	0	0	0	3,768	1,258	
06年度 実績	40,496	0	0	0	30,368	10,128	
07年度 当初	11,526	0	0	0	0	11,526	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和 6 年度は受信施設組合からの要望があり、受信点撤去工事を 3 件、伝送路撤去工事を 5 件実施し、令和 5 年度と比べ補助金交付件数が 7 件増加しました。

< 原因 > ケーブルテレビへの移行に伴い、各組合から撤去要望があったためです。なお、令和 6 年度に伝送路撤去工事を実施した 5 件については、令和 7 年度に受信点撤去工事を予定しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.9	80

事務事業名 木育推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	01	基本事業名	地域脱炭素化の推進
計画年度	平成 29 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1949

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市内幼児（新生児）及び保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域資源である山武杉（地域材）とふれあい、ぬくもりを感じる機会をつくります。

事務事業の内容、やり方、手順

地域資源の一つでもある「山武杉」を広く知らしめるとともに木のぬくもりやふれあいを通して、心豊かな人生を送れるための「木育」を推進しました。併せて、地域材を活用した公共施設を含めた木材の活用やサンブスギ製積み木等の販路開拓を進め、林業の活性化、雇用の拡大、定住促進、地域活性化の一助とするため、東京おもちゃ美術館や市内NPO法人等と連携・協力し、事業を進めました。

- ・1歳6か月検診時にサンブスギ製積み木を配布
- ・木育インストラクター養成講座への職員の参加
- ・市内小中学生を対象とする森林環境教育プログラムの実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
木のおもちゃ（積み木等）配布数		160	156	200
木育推進事業数		3	3	3
成果状況				
アンケート調査結果による木育認識度		57	60	60
木育推進事業参加者数		612	1,004	1,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,688	0	0	0	2,562	1,126	
06年度 実績	2,684	0	0	0	2,427	257	
07年度 当初	2,073	0	0	0	1,003	1,070	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
木育認識度は60%で前年度と比較して3ポイント増加し、木育推進事業参加者数は1004人で前年度と比較し392人増加しました。

< 原因 >
小中学生を対象にした森林環境教育プログラムについて、前年度は山武地区の小中学生を対象に実施しましたが、令和6年度は市内全地区に拡大し実施したため大幅に増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
再生可能エネルギーの導入量	k w	107,333	109,146	150,020
山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	tCO2	4,678	4,101	3,573
木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	t	2,349.1	2,822.5	4,732.8
省エネへの生活様式平均実践項目数	項目	3.12	3	3.5

事務事業名 地球温暖化防止対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	01	基本事業名	地域脱炭素化の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 597

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

環境にやさしい生活様式を実践する方が増え、二酸化炭素排出量が抑制されています。

事務事業の内容、やり方、手順

温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化その他地球温暖化の防止を図るための取り組みを行います。

・緑のカーテンの設置（市役所庁舎、こども園、観光案内所、成東運動公園、蓮沼交流センター、バイオマス体験棟）

・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定（R6）

・カーボンニュートラル都市ガス導入（R6～）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
緑のカーテンの面積	m ²	642	642	642
広報で啓蒙する	回	12	12	12
成果状況				
省エネへの生活様式平均実践項目数	個	3.12	3.28	3.33

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	123	0	0	0	0	123	
06年度 実績	3,768	0	0	0	0	3,768	6,006
07年度 当初	181	0	0	0	0	181	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 省エネへの生活様式平均実践項目数は、令和5年度より0.16ポイント増加しています。
 < 原因 > 電気代高騰等による省エネへの関心の高まりと、市等の啓発により各種省エネ対策が浸透しつつあり、徐々に増加傾向にあると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
再生可能エネルギーの導入量	k w	107,333	109,146	150,020
山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	tCO2	4,678	4,101	3,573
木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	t	2,349.1	2,822.5	4,732.8
省エネへの生活様式平均実践項目数	項目	3.12	3	3.5

事務事業名 省エネルギー等対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	01	基本事業名	地域脱炭素化の推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（世帯）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住宅用省エネルギー設備等の設置により、家庭における地球温暖化対策が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

家庭における地球温暖化対策の促進に加え、電力の強靱化を図るため、住宅用省エネルギー設備等を導入する者に対し補助金を交付します。
【補助対象】
エネファーム、定置用リチウムイオン蓄電システム、窓の断熱改修、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、V2H充放電設備、集合住宅充電設備、住民の合意形成のための資料作成費

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
広報等で啓発した回数	回	1	4	2
成果状況				
補助金を活用して省エネ設備を導入した世帯数	世帯	37	44	45

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,846	0	2,840	0	0	6	
06年度 実績	3,020	0	3,020	0	0	0	
07年度 当初	4,150	0	4,150	0	0	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 補助金を活用して省エネ設備を導入した世帯数は、令和5年度より7件増加しており、順調です。
< 原因 > 蓄電システムは、家庭用太陽光発電による売電から自家消費型への転換が増加したこと。窓の断熱改修は、断熱対策や光熱費の節約になること。また、市と国の補助金を併用できることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
再生可能エネルギーの導入量	k w	107,333	109,146	150,020
山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	tCO2	4,678	4,101	3,573
木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	t	2,349.1	2,822.5	4,732.8
省エネへの生活様式平均実践項目数	項目	3.12	3	3.5

事務事業名 ごみ収集事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	02	基本事業名	3Rの推進とごみ処理の適正化
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 596

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

廃棄物の減量化及び廃棄物処理の適正化を図り、市民の生活環境を清潔に保つことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 一般廃棄物を適正に処理するため、下記のことを行います。
- ・ごみカレンダーの作成
 - ・ごみ収集袋の作成
 - ・ごみ袋販売業務委託
 - ・一般廃棄物収集運搬業務委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
可燃ごみ袋販売枚数	枚	842,950	983,330	973,000
成果状況				
家庭からの可燃ごみ排出量	t	8,283	8,337	8,250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	84,796	0	0	0	49,657	35,139	1,296
06年度 実績	87,916	0	0	0	47,884	40,032	
07年度 当初	91,580	0	0	0	49,039	42,541	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 家庭からの可燃ごみ排出量は、前年度と比較して54t増加し維持・横ばいです。

<原因> 生ごみ処理機設置やリサイクル倉庫活用の推進をしていることで、可燃ごみとして処理する量の抑制が図られていると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
家庭ごみ排出量	t	9,348	9,384	9,896
再資源化率	%	21.3	20.7	18.9
ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数	件	3,315	3,341	2,817
1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	円	11,024	12,685	12,578

事務事業名 浄化槽設置支援事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	03	基本事業名	汚水処理の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（くみ取り槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する者。）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未処理の生活排水が排出されなくなります。

事務事業の内容、やり方、手順

くみ取り槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合に補助を行い、合併処理浄化槽の設置を促進します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
1年間の浄化槽補助金申請件数	件	60	45	70
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	5,793	5,785	5,754
し尿処理世帯戸数	戸	1,957	1,924	1,918

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	49,279	22,513	14,637	0	12,129	0	
06年度 実績	36,891	16,721	10,763	0	5,874	3,533	
07年度 当初	58,448	26,774	17,364	0	14,310	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和5年度と比較して、浄化槽補助金申請件数は15件減少しましたが、単独浄化槽設置基数は8件、し尿処理世帯戸数は33件減少しており、順調です。
 < 原因 > 資材高騰による工事費への負担増加等により申請件数の鈍化がみられますが、補助金の活用等から、単独浄化槽設置基数及びし尿処理世帯数は減少しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
合併処理浄化槽設置基数	基	60	45	70
農業集落排水供用戸数	戸	1,059	1,078	1,000

事務事業名 防犯灯維持管理事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	04	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・既設防犯灯

事務事業の内容、やり方、手順

- ・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するため、道路及びその周辺の既設防犯灯の管理を行う他、区からの要望に応じて防犯灯を新設します。
- 《修繕方法》市民から既設防犯灯の故障（支柱の倒壊等）連絡状況により現地調査 修繕工事依頼
- ・防犯灯の電気料金を支払います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

防犯灯が適切に管理されていることにより、夜間における危険箇所が解消され、安全が確保されています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
管理基数	基	8,124	8,143	8,143
成果状況				
苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	24,832	0	0	0	0	24,832	
06年度 実績	25,307	0	0	0	0	25,307	
07年度 当初	30,961	0	0	0	0	30,961	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

- < 状況 > 防犯灯に関する苦情件数については、令和6年度は0件で順調です。
 < 原因 > 修繕等の要望に対し、迅速に対応したことが理由と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）	箇所	128	211	100

事務事業名 消費生活相談事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	04	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営
 開設日 月～金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日を除く）
 開設時間 午前9時～正午まで及び午後1時～午後4時30分まで
 業務
 ・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあつせん
 ・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及び提供

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差が軽減され、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようになります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	2,181	2,003	2,100
啓発物の配布枚数	枚	11,355	12,950	11,500
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	415	392	400
消費者相談件数	件	680	636	600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,530	0	1,057	0	0	473	
06年度 実績	1,774	0	1,214	0	0	560	
07年度 当初	2,254	0	1,475	0	0	779	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 相談件数は、令和5年度より23件減少しており、順調です。
 < 原因 > 消費系生活相談につながるようなトラブル防止に向けた、広報さんむやポスター掲示等による注意啓発を実施し、トラブルを未然に防止できたことが、相談件数の減少の原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
消費者トラブルにあった市民の割合	%	4.8	3.4	4.4

事務事業名 経営所得安定対策推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1602

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業経営の安定化が図られています。
産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

水稻を対象に、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、主食用米から新規需要米への作付転換を支援します。市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
生産調整面積	h a	1,171	1,116	1,000
成果状況				
生産調整実績	h a	815	645	700
事業加入者数	人	236	174	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	109,630	0	13,802	0	0	95,828	
06年度 実績	96,011	0	12,499	0	0	83,512	
07年度 当初	98,035	0	14,425	0	0	83,610	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和 5 年度と比較して、生産調整実績は170ha、事業加入者数は62人減少しています。
< 原因 > 生産調整実績、事業加入者数が減少した要因は、米価の上昇により主食用米への作付転換が増加したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
耕地面積(水田、畑)	h a	5,580	5,530	5,650
家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	件	0	0	0

事務事業名 認定農業者育成事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進むことで、農業経営が改善されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入（貨物自動車を除く。）及び農業用施設の整備に要する経費の10%以内を限度額200,000円（スマート農業関連機械及び施設については、経費の20%以内を限度額500,000円）として、同一年度内に一度限り助成します。
なお、交付を受けた翌年度については、事業申請できません。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
事業要望件数	件	29	43	35
補助金交付件数	件	29	37	35
成果状況				
交付額	円	7,769,000	7,039,000	7,500,000
認定農業者増加件数	人	-10	-19	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	7,769	0	0	0	0	7,769	
06年度 実績	7,039	0	0	0	0	7,039	
07年度 当初	7,800	0	0	0	0	7,800	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和5年度と比較して、補助金交付額は、730千円、認定農業者は19人減少しています。
< 原因 > 補助金交付額の減少は、予算額の減額及び申請取り下げ等によるものです。認定農業者数の減少は、高齢等の理由により認定の更新をしなかった農業者がいたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
農用地利用集積率	%	33.3	33.4	51
新規就農者数（計画期間累計）	人	5	9	12

事務事業名 地域農業経営支援事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1667

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新規就農者や農業後継者を支援することで、地域農業の担い手が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

人・農地プラン（地域計画）の進捗管理及び新規就農者に対する助成を行います。
 ・農業次世代人材投資資金（～R3）/経営開始資金（R4～）*新規就農者
 ・経営発展支援事業補助金*新規就農者
 ・経営継承・発展等支援事業補助金*農業後継者

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
マスタープラン作成地区数	箇所	13	13	13
成果状況				
経営開始資金（旧農業次世代人材投資資金）交付件数	人	11	15	14
	a			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	30,252	0	27,616	0	0	2,636	
06年度 実績	39,493	0	29,897	0	0	9,596	
07年度 当初	57,389	0	55,125	0	500	1,764	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和5年度と比較して、給付金支給者数は、4人増加しています。
 <原因> 増加した要因は、新規就農者の経営開始資金の新規申請者が4人いたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
農用地利用集積率	%	33.3	33.4	51
新規就農者数（計画期間累計）	人	5	9	12

事務事業名 オライはすぬま管理運営事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	03	基本事業名	市内農林水産物の知名度向上と消費拡大
計画年度	平成 17 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 461

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

オライはすぬま企業組合
市民

事務事業の内容、やり方、手順

指定管理(協定書)により施設全体の管理運営を行うことにより、企業組合の創意工夫により積極的な取組みができます。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

指定管理者制度により更なる販売努力も生まれ、結果として農産物等の売上向上につなげることができます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
指定管理者との打ち合わせ回数	人	24	30	24
指定管理料	千円	3,099	3,000	3,000
成果状況				
オライはすぬま販売額	千円	472,330	473,575	480,000
来場者数（物産館＋レストラン）	人	289,361	281,288	330,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	6,982	0	0	0	105	6,877	
06年度 実績	31,716	0	0	0	27,410	4,306	
07年度 当初	4,389	0	0	0	0	4,389	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 道の駅の来場者数は、281,288人で前年度と比較して8,073人の減少ですが、販売額は前年度と比較して1,245千円の増加でした。
< 原因 > 来場者数の減少は、大規模な店内改修工事に伴い、12日間の休業期間が発生したことが主な要因と考えられます。施設の改修により来場者数は一時的に減少しましたが、リニューアル後の売場環境の向上や、1人あたりの購買単価が増加したことが販売額の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数	件	2,076	7,168	2,245
オライはすぬまの農林水産物の販売額	千円	134,907	142,236	161,665

事務事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	04	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1996

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されています。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した農業水路等の農業水利施設の整備、更新等を地域の実情に応じて実施します。
 山武市 期 水路整備工事 (H900×B1200)L=191.9m
 山武市 期 仮設道路工 (B4.5m×t0.5m)L=1255.0m
 成東地区 測量設計委託 1式 (L=1.3km)
 大平地区 ポンプ修繕 1式

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
整備更新等に係る事業数	件	3	4	4
成果状況				
事業実施済地区数	地区	3	4	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	98,543	0	61,639	17,500	0	19,404	25,531
06年度 実績	150,561	0	50,273	14,800	78,699	6,789	71,508
07年度 当初	302,000	0	188,051	55,000	0	58,949	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 水路幅員が確保できたので、水路整備工事を発注し完成しました。
 <原因>
 地権者が仮設道路用地を提供することにより、支障なく工事が完成しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	5	5	7

事務事業名 ほ場整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	04	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1997

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

担い手へ農地が集積・集約化され、耕作放棄の発生が防止されています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。
島地区市有地及び国有地編入承認申請書作成業務委託ほか2件の業務委託をしました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
事業実施予定地区数	地区	3	3	3
成果状況				
事業採択申請件数	件	0	1	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	21,086	0	8,000	4,300	2,886	5,900	
06年度 実績	7,096	0	1,360	1,400	22	4,314	11,528
07年度 当初	13,548	0	0	10,900	0	2,648	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
3 地区に土地改良事業推進委員会が設立され事業採択に向けて進捗しています。
< 原因 >
推進員が地権者に対して事業の説明をしています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	5	5	7

事務事業名 サンプスギ林総合対策事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進		
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1695

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林（溝腐病の激害林）
千葉県森林組合北総事業所等の事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

スギ非赤枯性溝腐病に罹患した被害森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林所有者からの委託により、千葉県森林組合北総事業所等林業事業体を実施したサンプスギ被害林の整備に対して、整備費用の10分の7（県4/10・市3/10）を補助しました。

内容 被害木の伐倒、搬出及び整理
跡地への植栽
被害材の運搬

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
補助金額	円	28,465	30,706	35,325
成果状況				
サンプスギ林再生・資源循環促進事業で整備された山林面積	ha	3.58	3.52	4
被害材の運搬量	立米	1,920	2,460	3,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	15,225	0	11,783	0	0	3,442	13,241
06年度 実績	26,699	0	19,602	0	0	7,097	4,007
07年度 当初	35,325	0	26,300	0	0	9,025	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
本事業で整備された森林面積は3.52haで、前年度と比較して0.06ha減少し、被害材の運搬量は2,460立米で、前年度と比較して540立米増加しました。
<原因>
前年度と比較して年数の経過した材積量の多い森林を整備したことにより、被害材の運搬量が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	39	32	30
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	3,486	4,097	8,144

事務事業名 自治体連携森林整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進
計画年度	令和 04 年度 ~ 令和 08 年度		事務事業整理番号 2202

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

浦安市、浦安市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

協定締結市町村の森林環境譲与税を財源に山武市内の森林整備により確保される二酸化炭素吸収量をもって協定締結市町村の二酸化炭素排出量が相殺されます。また、市内産木材の活用により、森林保全と地球温暖化対策の推進に関する理解が深まります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市と浦安市との協定に基づき、浦安市の森林環境譲与税を活用して、山武市内の森林の整備及び浦安市への市内産木材製品の提供等を実施しました。

浦安市との連携

- ・森林整備、木材活用に係る計画作成
- ・林業事業者への補助金交付事業として実施
- ・二酸化炭素吸収量の算出（計算式による）
- ・木材製品の提供
- ・森林環境学習の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
補助金額		5,000	8,000	5,000
成果状況				
自治体連携森林整備事業で整備された森林面積		4.78	5.82	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	5,000	0	0	0	5,000	0	
06年度 実績	8,000	0	0	0	8,000	0	
07年度 当初	8,560	0	0	0	8,560	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
本事業で整備された森林面積は5.82haで、前年度と比較して1.04ha増加しました。
< 原因 >
浦安市との協定に基づく森林整備を引き続き推進したことにより、森林整備面積が増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	39	32	30
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	3,486	4,097	8,144

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業委員 農地利用最適化推進委員 農地 農業者

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法または農地中間管理事業の推進に関する法律による利用権設定等の希望者に対し、申請に係る指導・助言等を行い、農地の適正利用を図りました。また、提出された農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、速やかに許可や県への進達を行いました。
その他の事業については以下のとおり実施しました。

- ・農家基本台帳の整備
- ・農地法に基づく農地の利用状況調査
- ・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修、視察研修の実施
- ・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答
- ・地域計画策定に係る協力、助言等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農地が適正に利用されます。
農業経営が向上します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
審議議案数	件	445	504	500
現地調査件数	件	522	596	550
成果状況				
農地申請不許可率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	22,606	0	4,554	0	0	18,052	
06年度 実績	23,936	0	5,677	0	0	18,259	
07年度 当初	21,828	0	3,199	0	0	18,629	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。
< 原因 > 農地法等の法令に関する事案について、農業委員及び農地利用最適化推進委員と事務局が連携し、現地確認等を実施していることが、円滑な運営に繋がりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値

事務事業名 中小企業運営資金利子補給事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 540

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者（対象資金の融資を受けた者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

中小企業者の負担軽減により、経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

対象資金に対し、支払った利子の一部を補給します。

【対象資金】

- ・千葉県中小企業振興資金
- ・国民生活事業の事業資金融資（株式会社日本政策金融公庫）
- ・中小企業事業融資（株式会社日本政策金融公庫）
- ・その他市長が必要と認める融資制度

【利子補給限度額】

- ・年利子支払額の30%以内（延滞利子除く）
- ・1事業所に対し30万円以内
- ・自然災害等の状況により50%以内（30万円以内）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
市内企業等数	件	1,379	1,354	1,345
成果状況				
受給率	%	11.5	11.4	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	10,707	0	0	0	0	10,707	
06年度 実績	19,213	0	0	0	0	19,213	
07年度 当初	15,045	0	0	0	0	15,045	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受給率は11.4%で、令和5年度と比較し0.1%減少しており、維持・横ばいです。

< 原因 > 金融機関への聞き取りによると、対象資金の借入額が少ない事業者は、対象資金の補給額が低額となるため、申請に至らなかったこと等が原因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	66.8	65.6	67
新規法人登録件数(計画期間累計)	件	125	195	360
法人市民税の増加事業所割合	%	32	28	20

事務事業名 エコノミックガーデニング推進事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1802

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中小企業、小規模事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地元企業が成長し、雇用が確保されるとともに経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングによりエコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営
- ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開
- ・商圈分析などデータ構築、提供
- ・域内企業マッチング

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
活動事業数	事業	11	13	13
成果状況				
参加事業所数	所	91	102	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,012	0	0	0	1,114	898	
06年度 実績	2,159	0	0	0	1,089	1,070	
07年度 当初	2,818	0	0	0	1,500	1,318	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > さんむエコノミックガーデニング推進協議会への参加事業所数は、令和5年度より11件増加しており順調です。

< 原因 > 協議会の活動が徐々に活発化してきており、異業種間交流が盛んに行われ、当活動に賛同する事業者の増加につながっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	66.8	65.6	67
新規法人登録件数(計画期間累計)	件	125	195	360
法人市民税の増加事業所割合	%	32	28	20

事務事業名 商店等魅力発信事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2165

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内事業者、市民、観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内事業者の顧客増加及び市の活性化

事務事業の内容、やり方、手順

書籍にて市内の商店や観光スポット等を紹介する。現在発行しているSAMMUMAGAZINEが大変好評であるため、同誌の新刊（続編）を作成します。作成部数 10,000部
SNS（Instagram）を活用して、SAMMUMAGAZINEに掲載している店舗やイベント等の情報を発信します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
YouTube動画作成本数		0	0	1
書籍発行部数		10,000	10,000	10,000
成果状況				
作成YouTube動画再生回数		43,000	46,319	45,000
書籍販売（配布）部数		10,000	10,000	10,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	7,598	0	0	0	7,074	524	
06年度 実績	9,468	0	0	0	9,378	90	
07年度 当初	7,572	0	0	0	5,477	2,095	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
Youtube動画再生回数は、46,319回で令和5年度と比べ3,319回増加、書籍（SAMMUMAGAZINE）の配布部数は10,000部で令和6年度と同数で、それぞれ順調です。
< 原因 >
Youtubeの新たな投稿はありませんでしたが、投稿されている動画が、山武市の魅力を紹介したもので、視聴者の興味をひく動画となっていることが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	66.8	65.6	67
新規法人登録件数(計画期間累計)	件	125	195	360
法人市民税の増加事業所割合	%	32	28	20

事務事業名 企業誘致促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	02	基本事業名	工業の振興
計画年度	令和 02 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2077

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

企業

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内に新たな企業が立地することにより、地域経済の活性化及び雇用の場の拡大が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

企業の立地に向けて、次の業務を実施します。
 企業立地に係る情報収集
 ・千葉県や金融機関等との意見交換
 企業誘致に係る支援制度の周知PR
 ・市ホームページ、チラシ、イベントフェアへの参加等
 企業との相談受付
 ・企業訪問、企業からの引き合い等から誘致に向けた交渉
 新たな産業用地の検討
 山武市企業立地促進条例（令和2年4月1日施行）に基づく各種奨励金の交付により、立地企業への財政的な支援を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
企業誘致支援制度の周知PR回数		2	4	5
企業との相談回数		21	54	36
成果状況				
企業等からの照会件数		16	38	24
企業立地・拡張件数		1	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	13,411	0	0	13,300	100	11	
06年度 実績	20,639	0	0	18,400	0	2,239	
07年度 当初	23,094	0	0	19,100	0	3,994	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 企業等からの照会件数が令和5年度と比較して22件、137.5%増加しているほか、企業立地支援制度の対象となる事業所の新設が令和7年度に予定されています。

< 原因 > 山武市企業立地促進条例に基づく各種奨励金等の施策のPRのほか、市から企業に対し本市への立地についての打診を積極的に行ったことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市内工業団地の従業者数	人	1,773	1,777	1,800
従業員一人当たりの製造品出荷額	千円	59,230	58,306	54,761

事務事業名 UIJターンによる起業・就業者等創出事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	03	基本事業名	成田空港経済圏の形成
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市に移住する者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市内への移住者が増加します。
- ・市内中小企業等の雇用が確保されます。
- ・市内での起業家が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

市内中小企業等に就業する方、特定分野で起業する方や移住元の業務を引き続きテレワークで実施する方等に対し、移住に要する経費の一部を補助します。（移住支援金事業）

<補助内容>
 東京23区等から移住し、かつ、就職、起業、テレワーク等で定住に至った者
 ・2人以上世帯 100万円 + 100万円 × 18歳未満人数
 ・単独世帯 60万円

県補助事業（国1/2、県1/4）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
マッチングサイトに掲載された年間求人数		21	10	20
マッチングサイトで求人した延べ事業者数		10	6	15
成果状況				
移住支援金を活用した転入者数		3	8	9
移住支援金を活用した世帯数		2	4	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,600	1,950	0	0	0	650	
06年度 実績	5,600	4,200	0	0	1,260	140	
07年度 当初	4,600	3,450	0	0	0	1,150	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 前年度と比較して、転入2世帯・5人の増加となっており、順調です。
 <原因>
 制度開始から2年目となり、広報の成果により移住希望者へ制度が浸透してきたことが原因と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
成田空港周辺自治体としての取組件数	件	5	5	7
成田空港内で働く市内従業員数	人	478(R4)	478(R4)	700

事務事業名 海岸施設維持管理事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	03	施策名	観光の振興
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 554

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・海岸観光施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸観光施設（駐車場・公衆トイレ等）及び椰子の木等の景観の維持管理等を実施し観光客の増加を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致および満足度向上を図るため、海岸駐車場や公衆トイレなどの海岸施設の維持管理に加え、椰子の木を含む景観の保全・整備を継続的に実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
整備実施面積	m ²	8,606	8,606	8,606
成果状況				
不具合件数	件	3	3	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	9,263	0	0	0	3,619	5,644	
06年度 実績	6,590	0	0	0	0	6,590	
07年度 当初	111,279	0	7,500	92,200	4,876	6,703	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 海岸施設の不具合件数は、前年度同様3件でした。
 < 原因 > 日常的な点検と適切な維持管理を継続的に実施していることにより、施設全体の状態が概ね良好に保たれています。不具合はすべて公衆トイレに関する軽微な内容であり、早期に対応可能な範囲であったことから、大きな支障には至りませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	58,303	76,477	70,000
海岸を利用した撮影及び活動件数	件	93	147	126

事務事業名 美しい海水浴場次世代継承事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 2013

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・本須賀海水浴場
- ・観光客
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ブルーフラッグ取得によるイメージアップにより、観光客が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

本須賀海水浴場において、国際環境認証ブルーフラッグの更新取得を目指します。美しいビーチを次世代に継承していくために、環境保全活動に積極的に取り組みます。

- ・海岸環境保全教育
- ・ビーチクリーン活動及び支援
- ・水質検査（開設前1回・開設期間中6回）
- ・安全リスク評価（3年に1回・今回は令和9年度）
- ・ブルーフラッグ認証取得申請（毎年更新）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
海岸環境教育活動回数	回	12	13	12
成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人	715	712	1,000
本須賀海水浴場入込数	人	40,437	56,822	50,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,165	0	0	0	4,164	1	
06年度 実績	4,535	0	0	0	4,221	314	
07年度 当初	5,413	0	0	0	5,413	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 海岸環境教育活動参加者数は、前年度から3人減少しましたが、本須賀海水浴場入込数は、16,385人の増加になりました。
 < 原因 > 前年に比べて海水浴場の開設期間が7日間延長（37日 44日）されたことが、入込数増加の要因だと思われます。また、ブルーフラッグ認証の認知度向上に伴い、安心して利用できる海水浴場としてのブランド価値が浸透しつつあることも、来訪者の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	58,303	76,477	70,000
海岸を利用した撮影及び活動件数	件	93	147	126

事務事業名 介護予防サービス計画作成委託事業

保健福祉部 高齢者支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 361

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

指定介護予防支援事業者
要支援認定者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

認定者に速やかに介護予防サービスを提供し、要支援状態の改善や、重度化の予防につなげます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域包括支援センター運営協議会にて予防給付に係るケアマネジメントを委託する事業者の承認を得ます。
承認を得た事業者にケアマネジメントを委託します。
委託ケアマネジメントに係る居宅サービス計画の承認・サービス提供票、評価表を確認します。
給付管理。
委託料の支払。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
受託指定居宅介護支援事業者	件	30	28	30
介護予防サービス利用者数	人	110	113	100
成果状況				
受託指定居宅介護支援事業者によるケアマネジメント数	件	90	96	80
ケアマネジメントによるトラブル件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,511	0	0	0	0	4,511	
06年度 実績	5,234	0	0	0	0	5,234	
07年度 当初	4,722	0	0	0	4,659	63	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 受託事業者のケアマネジメント件数が確保され、トラブルがなく順調です。
<原因> その理由としては、介護予防サービス計画作成についての受託事業者が確保され、利用者件数が横ばいであったため。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	47.3	47.2	50
生きがいを持っている高齢者の割合	%	43.8	46	50
要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢	歳	81.7	81.7	82

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	暮らしを支えるサービスの充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方
身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

急病等の緊急時に適切な対応が行われ、日常生活上の不安が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

対象世帯に緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、日常生活の不安を解消します。また、申請により救急医療情報キットの配布を行います。

<事務手順>

緊急通報装置貸与申請を市に提出します。（救急医療情報キットについては、申請書の提出のみ）
該当要件を審査し該当者には決定通知を郵送します。
市と契約した事業者が日程調整のうえ装置を設置します。
貸与は無料で、設置に係る費用は市が負担します。
月に一度、市と契約した事業者が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	58	66	61
お元気コール実施回数	回	4,356	4,324	4,428
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	240	260	260
緊急通報装置の設置数	台	362	372	369

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,284	0	0	0	0	4,284	
06年度 実績	4,456	0	0	0	0	4,456	
07年度 当初	4,562	0	0	0	0	4,562	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 緊急通報連絡により対応した件数は令和5年度より20件の増加、緊急通報装置の設置数は10件増加となりました。
<原因> 緊急通報装置の設置数は、包括支援センターや民生委員による周知・情報提供から新規設置となる台数と、施設入所や死亡により撤去となる台数が均衡しているためと考えられます。また、これに伴い、機器を利用して行われた緊急通報連絡も同程度の件数となったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
支えあいや仕組みで見守られている高齢者数（のべ）	人	382	392	420

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）を持っている者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付等）を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

窓口にて申請
心身の状況の調査
医師の意見書の取り寄せ
審査会にて障害支援区分の判定
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
介護給付費・訓練等給付費の支給を行った人数	人	542	530	546
成果状況				
障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	21.8	21.1	21.4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,266,344	631,880	315,703	0	0	318,761	
06年度 実績	1,391,068	671,604	347,023	0	0	372,441	
07年度 当初	1,384,343	691,011	345,505	0	0	347,827	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和6年度は前年度と比較し支給決定人数は12名低下し、530名となっています。成果指標は0.7ポイント低下し21.1%となっています。
<原因>令和6年度は新規利用者が少なく、介護保険への移行や転出等の理由により障害福祉サービスを利用しなくなった方が多かったため減少しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
自立支援給付サービスの実利用者数	人	542	530	697

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	03	基本事業名	発達が気になる子への支援
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1995

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある児童の生活能力の向上と自立が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、発達が気になる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

窓口にて申請
手帳のコピーか意見書を提出
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人	56	58	58
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人	169	176	176
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%	94	94	94
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%	96	82	82

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	221,739	110,869	55,419	0	0	55,451	
06年度 実績	246,664	123,082	60,263	0	0	63,319	
07年度 当初	248,990	124,220	62,110	0	0	62,660	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
通所支援を利用した就学前児童の割合は94%で昨年度と比較して横ばい、通所支援を利用した就学後の児童の割合は82%で、昨年度と比較して14%低下しました。
<原因>
必要な児童は利用に結びついており適切に通所支援を使用していますが、就学後の児童（放課後等デイサービス）については、学校との併用利用となり、自立することが増えサービスの利用の必要性が低下したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
障がい児通所支援の利用者数	人	225	234	308
切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合	%	88.8	90	100

事務事業名 がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善
計画年度	令和 03 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2150

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民のがんの早期発見・早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

集団検診（胃、大腸、乳、子宮、肺、前立腺）
 ・ 広報、保健事業案内、ホームページ等で周知
 ・ 4月に申込受付・検診2週間前までに受診票等を送付
 ・ 検診会場は保健センター等
 ・ 自己負担金 胃1,200円 大腸300円 乳1,200円 子宮800円 肺 無料 前立腺800円
 個別検診（胃、大腸、乳、子宮）
 ・ 広報、保健事業案内、ホームページ等で周知
 ・ 乳・子宮は6～1月、胃・大腸は8～1月受付実施
 ・ 検診会場は各委託医療機関
 ・ 自己負担金 胃5,000円 大腸500円 乳1,800～2,100円 子宮2,100円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
集団がん検診実施日数	日	45	42	39
成果状況				
がん検診（集団・個別）受診者数	人	12,592	14,199	15,581
要精検と判定された受診者数	人	451	462	570

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	41,685	10	0	0	2,984	38,691	
06年度 実績	50,267	15	0	0	3,876	46,376	
07年度 当初	57,025	13	0	0	4,040	52,972	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度のがん検診受診者数は14,199人で令和5年度より1,607人増加しました。
 < 原因 > 令和6年度からWEBでの申し込みを開始したこと、山武市公式LINEで周知したこと、新型コロナウイルス感染症による受診控えがなくなってきたこと等が考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	42.1	42.6	44.5
後期高齢者健康診査受診率	%	28	30.2	28.5
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	40.5	48.1	50.3
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	32.4	32.5	29.9

事務事業名 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	06	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1290

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターが健全に運営されます。

事務事業の内容、やり方、手順

内容：さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にかかる病院企業債の借入れ事務等
 やり方：繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意を得ます。
 手順：【繰出し関係】予算要求 予算の承認 さんむ医療センターからの請求 支出伝票の起票 決裁 会計課へ伝票の送付 支出
 【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請 市は県へ借入れの申請 ヒアリング 同意 借入れ手続き 入金 さんむ医療センターへ貸付け さんむ医療センターは借入証書を提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数（定例会及び必要に応じ開催した会議回数）	回	16	17	12
成果状況				
評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数（C及びD）	項目	2	4	0
さんむ医療センターへの繰出金	千円	361,118	658,198	829,925

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	361,118	0	0	0	0	361,118	
06年度 実績	658,198	0	0	0	16,500	641,698	
07年度 当初	847,257	0	0	0	20,400	826,857	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和6年度さんむ医療センター評価委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、通常開催出来ました。年度計画評価で、計画を下回る小項目数は4項目でした。
 <原因>
 産科分娩休止（助産師不足）の理由によるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
かかりつけ医を持っている市民割合	%	64.9	69.6	67.5
休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	%	63.5	67.6	67.8

事務事業名 幼稚園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1381

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼稚園（1園）の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児が安心できる教育環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
修繕及び工事件数	件	14	5	1
修繕及び工事費	千円	32,174	901	1,900
成果状況				
園児一人当たりの経費	円	480,216	13,263	27,142

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	34,243	8,407	0	12,600	9,851	3,385	
06年度 実績	2,306	0	0	0	57	2,249	
07年度 当初	1,002	0	0	0	0	1,002	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 園児一人あたりの経費について466,966円減少しています。
< 原因 > 令和5年度に日向幼稚園にてトイレ改修工事をおこなった為、令和6年度は費用が減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	77.7	72.2	80
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	96.3	95	98
一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	件	14	18	0

事務事業名 こども園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1878

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

こども園（5園）施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児が安心できる環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
修繕及び工事件数	件	113	98	25
修繕及び工事費	千円	70,514	73,404	40,810
成果状況				
園児一人あたりの経費	円	122,634	136,681	74,200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	75,867	0	0	38,800	13,513	23,554	
06年度 実績	89,299	0	0	59,000	6,335	23,964	
07年度 当初	70,111	15,876	0	31,700	0	22,535	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 園児一人あたりの経費について14,047円増加しています。
< 原因 > 令和6年度になるとこども園空調工事を行ったため、費用が前年度と比べ増加したためと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	77.7	72.2	80
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	96.3	95	98
一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	件	14	18	0

事務事業名 子育て世代包括支援センター等事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て不安の軽減
計画年度	令和 03 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2147

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<子育て世代包括支援センター事業>
市内の妊産婦及び母子（未就学児）
<乳児全戸訪問事業>
生後4か月までの乳児のいる家庭（里帰りを含む）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

育児の孤立化を防ぐため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を受けることで、育児不安が軽減され、安心して出産、育児に望めます。

事務事業の内容、やり方、手順

【子育て世代包括支援センター事業】事業内容：専任と兼任の保健師等を配置し、専門的な見地から母子保健に関する相談支援を実施します。妊娠届出者の全数面接を行い、妊婦支援台帳、支援プランを作成します。出生後も全数に支援プランを作成し、必要に応じ見直しを行います。心身の不調や育児不安があるなど手厚い支援を要する方は、要保護児童対策協議会のネットワークで対応します。【乳児全戸訪問事業】事業内容：すべての乳児のいる家庭を助産師、保健師が訪問し、子育てに関する情報提供、養育環境等の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言等の援助を行います。【出産・子育て応援給付金】妊娠届出及び出生届出の面談後に申請のあった方に対し、それぞれ5万円を給付します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
妊婦支援者数		193	165	180
乳児全戸訪問実施者数		147	151	160
成果状況				
妊婦支援実施率		100	100	100
乳児全戸訪問実施率		98.7	98	95

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	18,334	11,872	3,188	0	0	3,274	
06年度 実績	20,064	11,797	3,139	0	0	5,128	
07年度 当初	20,482	19,783	699	0	0	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 妊娠届出数は165名で、前年度より28名減少し、全数に面接を行いケアプランを提案し支援しました。乳児全戸訪問率は、98.0%で前年度とほぼ横ばいでした。
<原因> R6年度は、妊娠届出数の月平均数（13人）を大幅に上回る月はなく、転入妊婦は（R5年度19名 R6年度12名）7名の減少や外国人妊婦数は（R5年度23名 R6年度33名）10名増加し、妊娠届出数の2割を占めました。乳児全戸訪問拒否家庭3件は、子育て世代包括支援センター来所時に全数面接を行いました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	%	90	93.7	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	90.2	87.3	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	6,784	5,819	4,645

事務事業名 産婦健診等事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て不安の軽減
計画年度	令和 03 年度 ~	年度	
			事務事業整理番号 2149

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市に住民登録がある産婦に産婦健診
市に住民登録がある産後に支援が必要な産婦（産後1年未満）に産後ケア
市に住民登録がある多胎妊婦に妊婦健診追加
市に住民登録がある低所得妊婦に初回産科受診支援

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

出産直後の産婦が心身のケアや育児サポート等をきめ細やかに受けることにより、産後うつを予防を図り、産後も安心して子育てできるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

<産婦健診> 実施回数：1回 実施場所：医療機関
実施内容：近隣医療機関と委託契約 母子健康手帳発行の際に産婦健康診査受診票を配布 産婦健康診査実施 医療機関から報告書及び請求書受理 事業者へ委託料の支払い。償還払いの場合は、産婦が市へ請求。
<産後ケア> 実施回数：随時 実施場所：医療機関等
事業内容：事業者と委託契約 利用申し込み受付 事前調査 利用の決定 事業者へ依頼 産後ケア事業の実施 事業者からの報告書及び請求書受理 事後調査 事業者へ委託料の支払い
宿泊型（医療機関等に利用者が宿泊）
デイサービス型（日中医療機関、助産院等に利用者が来所）
アウトリーチ型（助産師等が利用者の自宅に赴く）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
産後ケア事業実人数		42	58	70
産婦健康診査対象者数		149	152	160
成果状況				
産後ケア事業利用者率		64.6	84.1	85
産婦健康診査受診率		96	86.8	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,525	1,746	0	0	0	1,779	
06年度 実績	5,056	2,527	0	0	0	2,529	
07年度 当初	6,940	3,443	1,451	0	0	2,046	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>産後ケア事業利用者率は84.1%で、前年度と比較して19.5ポイント増加しました。産婦健康診査受診率は86.8%で、前年度と比較して9.2ポイント減少しました。
<原因>産後ケア事業利用者率については、令和6年の子ども・子育て支援法の改正により産後ケア事業対象者が母親と乳児に拡大され、妊娠届出時より個別に周知啓発に努めたことで利用者が増加したと考えられます。産婦健康診査受診率については、さんむ医療センターがR6年途中でお産を取りやめ他の医療機関に分散したことや、外国人妊婦が里帰り出産したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	%	90	93.7	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	90.2	87.3	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	6,784	5,819	4,645

事務事業名 子ども医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 15 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 428

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校3年生までの子ども
高校3年生までの子どもの保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。
対象は高校3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、令和5年8月診療分からは高校3年生まで受給券を交付し個人負担は無料としています。
子どもの出生または転入により、山武市民となった子どもの保護者より、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、資格要件の有無を確認し、8月1日に切り替えとなります。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
子ども医療費助成対象者数	人	4,223	4,741	4,752
成果状況				
医療費助成額	千円	127,129	140,231	139,515

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	132,331	0	34,544	0	940	96,847	
06年度 実績	145,180	0	30,765	0	1,018	113,397	
07年度 当初	145,712	1,134	30,705	0	1,021	112,852	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 医療費助成額が前年度より13,102千円増加し、順調です。
< 原因 > 高校生等医療費助成事業と統合し、18歳年度末まで受給券を交付したことによるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円	279,742	289,812	265,479
ひとり親家庭の自立率	%	12.6	13.01	11.08

事務事業名 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2168

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

18歳（障害がある場合20歳）までの児童を養育する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯及びひとり親家庭の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

ひとり親の子育て世帯分として、令和5年3月分の児童扶養手当受給者に申請不要のプッシュ型で、児童1人当たり5万円を支給します。
令和5年3月分以降の児童手当受給者で令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に申請不要のプッシュ型で児童1人当たり5万円の給付金を支給します。高校生相当の年齢児童を養育し、令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に対しては申請により給付金を支給します。
その他、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、それぞれの所得要件等を満たす子育て世帯に対し申請により給付金を支給します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
給付金支給世帯数		630	1	
給付金支給児童数		1,058	1	
成果状況				
給付金執行率		97.96	1	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	60,852	54,849	0	0	0	6,003	
06年度 実績	1,125	0	0	0	0	1,125	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和6年度に、令和5年度分の子育て世帯生活支援特別給付金事業費及び事務費補助金の返還金がありました。
<原因>
出生見込み及び家計急変対象が見込みよりも少なかったことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円	279,742	289,812	265,479
ひとり親家庭の自立率	%	12.6	13.01	11.08

事務事業名 三世代同居等支援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	令和 02 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2081

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

三世代同居または近居をするために市内へ転入した子育て世代の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

三世代同居または近居をする方が増加し、子育てしやすい環境が整うとともに、若い世代の山武市への移住定住促進が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

三世代同居または近居をするために市内へ転入した方に対し、住宅取得等にかかる費用を補助します。

< 補助内容 >
住宅の購入、新築、建替え、増築又はリフォーム工事のいずれかに要した費用の2分1の額（上限 75万円）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
三世代同居等支援補助金申請受付件数	件	10	7	10
成果状況				
三世代同居等支援補助金を活用した転入者数	人	31	24	30
三世代同居等支援補助金交付額	千円	7,500	5,250	7,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	7,500	0	0	0	6,750	750	
06年度 実績	5,250	0	0	0	4,725	525	
07年度 当初	7,500	0	0	1,500	0	6,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
補助金を活用した転入者数は、前年度と比較して7人減少し24人となり、不調です。
< 原因 >
申請が少なかったことが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	160	315	800
結婚する意欲のある独身者の割合	%	80.7	69.5	81.3

事務事業名 結婚応援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2185

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

結婚を希望する市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

結婚を希望する方が、このイベントによりコミュニケーション力などを高め、婚姻数の増加させます。

事務事業の内容、やり方、手順

異性間コミュニケーション講座と出会いの場を併せた結婚応援イベントを開催します。

【令和6年度】

回数：1回

開催日：令和6年11月30日

対象者：25歳から34歳までの男女（男性は、在住・在勤）

備考：マッチングは実施せず

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
取組件数		2	1	2
成果状況				
婚姻件数		116	96	120
セミナー、イベント参加者数		38	23	40

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	456	0	300	0	0	156	
06年度 実績	218	0	146	0	0	72	
07年度 当初	765	0	220	0	0	545	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 婚姻件数は、前年度から20件減の96件でした。セミナー・イベント参加者数は、15人減少の23人となりましたが、開催回数が2回から1回に減少したことに伴うもので順調です。
 <原因> 婚活イベントの参加者数の減少は、前年度と比較して開催回数が1回減となったことによるものです。なお、取組の減少について、結婚祝品の配付は、若手職員からあった事業見直しの意見を踏まえ、結婚応援として効果が薄かったため終了しました。婚姻件数の減少は、全国的な傾向となっています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	160	315	800
結婚する意欲のある独身者の割合	%	80.7	69.5	81.3

事務事業名 生活困窮者自立相談支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1823

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
相談件数	件	171	189	150
成果状況				
相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合	%	12.8	10	15

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	25,006	14,526	1,979	0	1,862	6,639	
06年度 実績	24,248	17,001	0	0	1,764	5,483	
07年度 当初	27,806	17,930	0	0	0	9,876	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合は、10.0%で、令和5年度に比べて2.8%低下しました。
 <原因> 物価高騰等による生活困窮者の増加に伴い、相談件数が増加、相談内容の複雑化が支援実施件数の割合の低下の原因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%	21.3	34.4	25.4

事務事業名 物価高騰支援給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2263

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

令和6年度住民税非課税世帯の市民。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）
市民に給付金を支給することで、市民の生活を支援します。

事務事業の内容、やり方、手順

令和6年12月13日時点で山武市に住民票のある令和6年度住民税非課税世帯に対して1世帯3万円の給付を行います。
（申請期限：令和7年5月31日まで）
18歳以下の子どもいる世帯に一人あたり2万円給付します。
（申請期限：令和7年7月31日まで）
課税者の扶養親族のみからなる世帯は除きます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
支給のお知らせ及び確認書等の送付総数		5,695	5,674	5,700
成果状況				
給付件数割合		97.5	95.2	96

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	399,303	0	0	0	0	399,303	
06年度 実績	174,594	0	0	0	0	174,594	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度からの事業です。令和6年度終了時の給付件数割合は95.2%で、順調です。
< 原因 > 物価高騰に伴い、生活困窮者が増加していることにより、給付件数割合が多かったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%	21.3	34.4	25.4

事務事業名 物価高騰対策給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	令和 06 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2279

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

令和6年度新たに住民税非課税及び住民税均等割課税世帯になった市民。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民に給付金を支給することで、市民の生活を支援します。

事務事業の内容、やり方、手順

【非課税世帯及び均等割のみ課税世帯】

- ・確認書の送付
- ・確認書の返信
- ・支給決定の送付
- ・給付金の支給

確認書の返信がない方に勧奨通知を送付します。

【こども加算給付金】

- ・支給のお知らせの送付
- ・非課税世帯または均等割のみ課税世帯への給付金を支給した口座へ支給

口座を変更したい場合は口座変更届を提出してもらいます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
確認書送付件数及び支給のお知らせ送付件数			1,177	0
成果状況				
給付件数割合			97.4	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	118,557	0	0	0	0	118,557	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度からの事業です。事業完了時の給付件数割合は97.4%でした。
 < 原因 > 物価高騰に伴い、生活困窮者が増加していることにより、給付件数割合が多かったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%	21.3	34.4	25.4

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 302

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度が保障された生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長しました。

<保護の種類>

生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、進学準備給付金、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
生活保護申請件数	件	88	111	111
生活保護開始件数	件	69	82	82
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	388	410	432
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		6	7	11

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	745,597	523,630	5,365	0	9,830	206,772	
06年度 実績	760,484	598,886	5,032	0	11,414	145,152	
07年度 当初	762,501	571,875	0	0	5,800	184,826	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 受給世帯は昨年度から22件の増加です。また、生活保護廃止世帯のうち、自立によるものは7件となりました。

<原因> 高齢者世帯の保護受給が多く、受給世帯の減少は見込んでいません。また、現役世帯で稼働収入を得ている保護受給世帯についても、傷病を抱えていることが多く、パートタイム勤務が多くなっていることから経済的な自立には至っていません。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
自立による生活保護廃止件数	件	6	7	12
生活保護率	%	9.65	10.48	10.91

事務事業名 小学校用備品整備事業(管理)

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	767	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内各小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童が充実した学校生活を送ることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校の要望を取りまとめ、備品を一括購入します。
予算額は、1校当たり200千円、1クラス当たり20千円を加算した額で計上しています。

学校数11校×200千円=2,200千円
クラス数77クラス×20千円=1,540千円

但し、学校の要望により管理と振興で調整を行います。

入札案件 : 2件
随意契約案件 : 12件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
小学校管理用備品入札、随意契約件数	件	13	14	20
成果状況				
小学校管理用備品購入額	千円	3,061	6,126	8,534

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,067	0	0	0	1,000	2,067	
06年度 実績	6,126	0	0	0	0	6,126	
07年度 当初	5,957	0	0	0	0	5,957	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 学校の要望に沿う備品（管理等）の一部について、一括購入したことで、多種にわたる備品が購入でき、教育環境の充実を実現させることができました。令和5年度と比較して、実績は増加しました。
<原因> 児童用の机と椅子を一部更新したため、増額となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%	55.9	63.7	63
学力の定着が見られる生徒の割合	%	49.3	48.2	56.3
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	41.7	45.2	50

事務事業名 中学校用備品整備事業(振興)

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	828	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内各中学校生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

充実した学校生活を送ることができるよう適切な備品が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校要望を取りまとめて、備品を一括購入します。各学校では、必要な備品リストから充実度・優先度を勘案し備品要望をします。
 予算額は、『教材備品』1校当り200千円、1学級当り26千円を加算した額を計上、『部活備品』1校当り550千円を計上しています。
 なお、部活備品の内訳は、基準額1校当り340千円に、吹奏楽備品1校当り210千円を加算した額となります。
 教材備品 学校数4校×200千円=800千円
 学級数31学級×26千円=806千円
 部活備品4校×550千円=2,200千円
 但し、学校の要望により管理と振興で調整を行います。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
中学校振興用備品入札、随意契約件数	件	15	5	20
成果状況				
中学校振興用備品購入額	千円	2,041	1,624	3,672

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,129	0	0	0	0	2,129	
06年度 実績	15,231	0	0	0	0	15,231	
07年度 当初	1,288	0	0	0	0	1,288	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 学校の要望に沿う備品（振興）の一部について、一括購入したことで、多種にわたる備品が購入でき、教育環境の充実を実現させることができました。
 <原因> 経年劣化等で部品を交換できない備品を買い替えしたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%	55.9	63.7	63
学力の定着が見られる生徒の割合	%	49.3	48.2	56.3
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	41.7	45.2	50

事務事業名 外国人英会話授業支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 929

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ネイティブスピーカーであるALTと授業を行うことにより、英語の発音を含め、外国の文化や風習など異文化に直接触れることができ、異文化理解や国際感覚を持った子供たちが育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

ネイティブスピーカーであるALT（外国語指導助手）を小・中学校に配置し、中学校の英語授業や小学校の外国語活動・外国語授業で日本人教師とともに授業を行います。
【手順】
・3月 ALT配置校の決定
・4月 ALTの授業開始
ALTの勤務状況調査開始（以後毎月）
・2月 ALTとの授業の成果等についてアンケート調査を実施
中学生にはAI英会話学習システムも利用し、英語教育を推進します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
ALTを配置した学校数	校	15	15	15
成果状況 児童・生徒が『ALTの授業・英語活動を楽しみにしている』と回答した教職員の割合	%	93.3	87	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	28,908	0	0	0	26,017	2,891	
06年度 実績	28,996	0	0	0	23,701	5,295	
07年度 当初	28,934	0	0	0	0	28,934	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 市内すべての小中学校にALTが計画的に配置されています。意欲的に学習に取り組んでいる児童生徒の割合は令和5年度に比べて6.3ポイント低下していますが、水準としては高い状況と言えます。
<原因> 市内小中学校にALTを配置し、児童生徒と授業外の活動でもコミュニケーションを積極的に図っています。また、ALTと教職員が打合せをして授業に臨むための時間を確保し、連携がとれた授業展開ができていることが児童生徒の意欲的な学習につながっていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%	55.9	63.7	63
学力の定着が見られる生徒の割合	%	49.3	48.2	56.3
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	41.7	45.2	50

事務事業名 英語教育推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1903

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中学生

事務事業の内容、やり方、手順

市内中学校の生徒1名につき年度内1回、英語検定の検定料補助（全額）を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

英検取得により英語力が向上し、グローバル人材が育成されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
英検を実施した学校数	校	4	4	4
成果状況				
中学校卒業時の英語検定3級以上取得割合	%	41.7	45.2	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,285	0	0	0	3,285	0	
06年度 実績	3,258	0	0	0	3,258	0	
07年度 当初	3,561	0	0	0	3,561	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 中学3年生の英検3級以上の取得率は、令和5年度と比較して3.5ポイント増加しています。
 < 原因 > 英語検定の検定料補助を継続していることで、英語検定を受験することが定着しています。5級から挑戦をすることで、その後も継続して英語検定の取得を目標にすることができています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%	55.9	63.7	63
学力の定着が見られる生徒の割合	%	49.3	48.2	56.3
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	41.7	45.2	50

事務事業名 ICTサポート事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践	
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1787

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣。
 派遣回数
 平成26年度：7回×19校 令和2年度：16回×17校
 平成27年度：40回×19校 令和3年度：33回×16校
 平成28年度：29回×19校 令和4年度：33回×15校
 平成29年度：28回×19校 令和5年度：30回×15校
 平成30年度：18回×19校 令和6年度：25回×15校
 令和元年度：16回×17校 令和7年度：20回×15校
 以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数	回	30	25	20
成果状況				
ICTを活用した授業を実施した教員の割合	%	86	88	87

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	13,740	624	0	0	0	13,116	
06年度 実績	11,985	0	0	0	0	11,985	
07年度 当初	10,190	0	0	0	0	10,190	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 機器を活用した教員の割合は前年度と比較して2ポイント増加しています。
 < 原因 > ICT支援員を派遣し活用割合向上に努めたことにより、使用頻度が増加したと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合	%	71	62.2	80
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	%	59.3	63.3	72
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	74.7	78	74

事務事業名 学校教育DX推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践		
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	2271

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校

事務事業の内容、やり方、手順

市内小中学校にデジタル教材や電子黒板等を整備します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

デジタル教材や電子黒板等を導入し1人1台端末と連携させることで児童生徒が興味のわく授業を実施し授業内容を深く理解することで学習意欲の向上が期待される。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
電子黒板を整備した台数	台		50	6
成果状況				
1人1台端末や電子黒板等ICT機器を活用した授業に対する児童生徒の満足度			3.9	3.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	84,699	22,277	0	0	42,115	20,307	
07年度 当初	9,652	0	0	0	0	9,652	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 大規模整備初年度の満足度調査で5ポイント中3.9ポイントの結果が得られた。
 < 原因 > 従来の黒板での授業より電子黒板を使用した授業展開が効果的であったと考えられる。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合	%	71	62.2	80
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	%	59.3	63.3	72
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	74.7	78	74

事務事業名 通学バス運行事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1972

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴う遠距離通学児童・生徒の負担軽減及び安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校統合により遠距離通学となる児童生徒を対象に通学バスを運行します。
 【松尾小学校】平成31年4月より運行開始
 令和6年度、契約更新（令和6年4月1日～令和11年3月31日まで）
 対象：旧豊岡小学校区の児童。車両：マイクロバス2台
 【日向小学校】令和3年4月より運行開始
 対象：統合により従来より通学距離が遠距離となり、かつ概ね通学距離が2km以上の児童。車両：路線型大型バス3台・同中型バス1台
 【山武望洋中学校】令和4年4月より運行開始
 対象：旧蓮沼中学校区の生徒。車両：路線型大型バス2台

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
利用児童生徒数		300	302	301
運行日数		267	262	267
成果状況				
運行休止により、通学が不可能となった日数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	62,870	12,200	0	0	0	50,670	
06年度 実績	64,787	9,068	0	16,600	0	39,119	
07年度 当初	64,185	10,395	0	16,000	0	37,790	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 車両の不具合や事故等により、登下校が不可能になった日数は0日であり、順調です。
 <原因>
 学校、委託業者と連携を図りながら安全運行、管理が出来たことによるものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	2011

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内11小学校に通う児童や教職員、保護者等になります。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習等環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等で起きた不具合、故障等のための改修工事、工事監理業務を行いました。

- ・山武北小学校エレベーター改修工事（繰越明許費）
- ・緑海小学校大規模改修工事及び工事監理業務（繰越明許費）
- ・南郷小学校キュービクル改修工事及び工事監理業務

学校運営等に支障が出ないように考慮し、工期内完成としました。

山武北小、緑海小については、国の学校施設環境改善交付金を活用しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
修繕及び工事件数	件	3	3	0
修繕及び工事費	千円	68,795	188,467	0
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	39,446	113,466	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	75,692	0	0	57,400	18,292	0	
06年度 実績	33,751	0	0	30,300	3,451	0	165,826
07年度 当初	495	0	0	0	495	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 山武北小学校エレベーター改修工事及び緑海小学校大規模改修工事を令和5～6年度の繰越明許費とし、全ての工事において計画通りに完了しているため順調です。
 < 原因 > 必要に応じて繰越明許費とし、適正な工期を確保出来たためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 成東中学校新校舎整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 11 年度			事務事業整理番号	2239

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東中学校に通う生徒や教職員、保護者等になります。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

改築により整備された中学校が、生徒や教職員、保護者等にとって安心・安全な教育環境を作り出します。

事務事業の内容、やり方、手順

経年により老朽した校舎等の改築を実施します。令和6年度は、基本構想策定業務（繰越明許費）が完了し、基本設計業務を実施しています。また、学校用地拡張のための物件補償調査、不動産鑑定評価及び用地交渉業務支援を委託し、用地購入を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
委託件数	件	2	5	3
工事件数	件	0	0	2
成果状況				
校舎改築完了までの事業進捗率	%	8	27	51

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	8,925	0	0	0	0	8,925	
06年度 実績	59,548	0	0	2,800	56,748	0	13,900
07年度 当初	273,159	0	0	259,500	13,659	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 全ての業務が計画通りに完了しているため順調です。
 < 原因 > 必要に応じて繰越明許費とし、適正な履行期間を確保出来たためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 成東学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 18 年度 ~ 令和 07 年度		事務事業整理番号	1026

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
成東学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
- <調理・衛生関係>
 - ・栄養士の指導による調理・衛生計画
 - ・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
 - ・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管
- <給食費関係>
 - ・給食申込書等によるデータ作成及び修正
 - ・納付書発行・口座振替の依頼
 - ・督促状等の発行
 - ・臨戸徴収の実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
給食数（成東センター調理分）	食	323,494	329,890	451,970
臨戸徴収件数	件	83	64	60
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
市全体の給食費収納率	%	98.4	98.05	99

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	240,802	0	3,566	0	92,883	144,353	
06年度 実績	232,681	0	3,805	0	26,446	202,430	
07年度 当初	87,616	0	1,316	0	30,284	56,016	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 収納率は98.05%で前年度に対し、0.35ポイント低下しました。給食を支給できなかった日数は0日で順調です。
<原因> 給食費の収納率向上のため、臨戸徴収64件及び電話催告154件行い、横ばいを維持しています。代替給食の提供については、受注者との緊密な連携により安全かつ確実に実施しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 山武学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 18 年度 ~ 令和 07 年度			事務事業整理番号	1028

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
- <調理・衛生関係>
- ・栄養士の指導による調理・衛生計画
- ・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
- ・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
給食数（山武センター調理分）	食	204,791	214,199	75,050
成果状況				
給食を支給できなかった日数	日	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	172,003	0	1,525	0	53,475	117,003	
06年度 実績	180,512	0	1,526	0	116,558	62,428	
07年度 当初	63,311	0	559	0	21,551	41,201	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 給食を支給できなかった日数が0日で順調です。
<原因> 日常点検や保守点検等による故障個所の早期発見、迅速な修繕、代替手段での運用を行ったことが要因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 学校給食センター施設整備事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 08 年度			事務事業整理番号	1981

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東学校給食センター、山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

衛生的かつ安全な学校給食が安定的に供給されます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東学校給食センターおよび山武学校給食センターを統合し、現在の学校給食衛生基準にあった給食センターを整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
受託事業者との打合せ回数		12	24	8
成果状況				
進捗率		50	70	88

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	114,583	25,046	0	20,000	7,008	62,529	28,829
06年度 実績	690,658	250,843	0	393,600	46,215	0	
07年度 当初	1,052,706	247,328	0	441,200	313,368	50,810	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和6年度は、学校給食センター施設設備整備工事に着手し、工程表に沿って進捗しており順調です。
<原因>
発注者、工事管理者、受注者間で定期的に綿密な進行管理を行い、工事進行上の課題解決に務めたことが順調な進捗につながりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	0	0	0

事務事業名 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1913

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小・中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・学習の選択肢が広がります。
- ・子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場が構築され、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

NPO法人との協働により学校支援センターを運営し、学校支援を実施します。
 【平成28年度】調査研究員によりニーズ調査、実証事業を実施。NPO法人 教育サポートGAA設立
 【平成29～令和元年度】教育に関する各種調査研究を実施。学校支援を実施
 【令和2年度】学校支援センター試行と並行し、運用方法の調査研究。コミュニティ・スクールの導入推進。（仮称）子どもトータルサポートシステム施行準備。学校支援を継続。
 【令和3年度～】前年度調査研究の結果を受け、学校支援センターを本格稼働。学校支援を継続

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
調査研究のための会議実施数	回	50	49	45
成果状況				
学校支援実施回数	件	758	920	687

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	8,016	0	461	0	7,490	65	
06年度 実績	8,591	0	826	0	7,765	0	
07年度 当初	6,634	0	826	0	5,808	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 学校支援実施回数は、令和5年度より162回増加しており順調です。
 <原因>
 学校からの要望等により1時間単位の依頼もあったことから回数が増えたものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	137	141	153
学校支援活動に協力した市民数	人	123	120	229

事務事業名 成東文化会館施設管理事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
成東文化会館利用者

事務事業の内容、やり方、手順

・施設概要 ホール（368席）、楽屋1、楽屋2、会議室1（37人）、会議室2（27人）、視聴覚室（椅子のみ126人）及び付属設備を有償で貸し出しています（ただし山武市内の公共機関については使用料免除）。また、建物内に成東図書館を有しています。
ホールは1年先、会議室等は6ヶ月先まで電話にて予約を受付しています。ホールは使用日の7日前、会議室等は3日前までに申請書を会館窓口へ提出し使用料を納付します。
・月曜日（祝日の場合は翌々日）、祝祭日の翌日及び年末年始を除き、9：00～21：30まで利用することができます。
・夜間警備や空調設備、浄化槽設備、舞台機構等の保守点検、清掃業務等を業者に委託し施設の維持管理を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域文化活動の拠点として、成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼動し、安心して利用できます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
開館日数	日	294	292	292
業務委託及び借上件数	件	27	27	27
成果状況				
施設貸出数	件	789	979	900
施設苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	48,272	0	0	7,500	1,975	38,797	
06年度 実績	42,522	0	0	0	3,668	38,854	
07年度 当初	40,200	0	0	0	2,274	37,926	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 施設貸出数は、令和5年度から190件増加しており、事業成果は向上しています。また、施設苦情件数は令和5年度に引き続き0件であり、順調です。
<原因> 成東中央公民館の施設利用者が、エレベーター工事で利用できず、その方々が成東文化会館を利用したことが増加の要因と思われます。また、苦情件数が0件であったことは、日常管理に務めた結果と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	218,185	222,453	122,000
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%	6.5	6.2	7.1
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円	28,356	29,494	35,121

事務事業名 成東中央公民館施設管理運営事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1055	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・成東中央公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設を安全に利用していただける状態にします。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の概要：1F 第1会議室、2F 視聴覚室、第1・2研修室、第2・第3・第4会議室、3F 講堂
 利用料金（1時間当たり）：講堂は市内550円・市外1,100円、第1会議室・視聴覚室は市内440円・市外880円、第1・2研修室・第2会議室は市内330円・市外660円、その他は市内220円・市外440円
 休館日：毎週月曜日（但し月曜日が祝日法に規定する休日に当たる場合は、その翌々日）、祝日法に規定する休日の翌日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
 開館時間：午前9時から午後5時（夜間開放日は午後9時まで）
 受付は直営で対応し、維持管理については業者委託で対応しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
施設補修件数	件	1	1	1
開館日数	日	284	225	293
成果状況				
不具合発生件数	件	1	1	0
成東中央公民館年間利用者数	人	23,830	17,087	20,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	9,342	0	0	0	795	8,547	
06年度 実績	9,283	0	0	0	623	8,660	
07年度 当初	10,579	0	0	0	913	9,666	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 不具合発生件数は1件です。年間利用者数は昨年度と比較して6,743人減少しました。
 <原因> 令和7年1月4日から令和7年3月28日まで、老朽化したエレベーターの改修工事を実施するため休館したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	218,185	222,453	122,000
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%	6.5	6.2	7.1
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円	28,356	29,494	35,121

事務事業名 環境改善センター施設管理事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号	1058

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・環境改善センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で安心な施設に維持管理しています。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
 1 F 調理実習室・多目的ホール
 2 F 農事研修室・和室会議室・茶室
 利用料金：（1時間当り）多目的ホール市内550円市外1100円
 茶室・和室会議室市内220円市外440円
 農事研修室市内440円市外880円
 休館日：毎週月曜日 年末年始（12月29日～1月3日）
 開館時間：午前9時00分～午後9時30分
 受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
施設補修件数		2	6	5
開館日数		308	293	293
成果状況				
不具合発生件数		0	0	5
年間利用者数		10,684	11,491	10,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	5,894	0	0	0	564	5,330	
06年度 実績	7,262	0	0	0	514	6,748	
07年度 当初	6,465	0	0	0	563	5,902	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 不具合発生件数は0件です。昨年度に比べ807人増加しており、向上です。
 < 原因 > その理由は、不具合発生件数は、施設の点検、早期修理に努めた結果です。年間利用者の増加は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され利用団体の活動も順調に回復したことにより増加したと思われま。修繕箇所：事務室空調機洗浄、浄化槽配管修繕、調理実習室バーナー修理、調理実習室圧鍋修繕、ワイヤレス放送設備更新工事

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	218,185	222,453	122,000
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%	6.5	6.2	7.1
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円	28,356	29,494	35,121

事務事業名 松尾公民館施設管理事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1890

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・松尾公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で安心な施設を維持管理しています。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
 ・スタジオ：A・B・C・D 合計4室
 ・授乳室、男女更衣室、シャワー室、情報コーナー、キッズルーム
 ・駐車場、アーケード、芝生広場及び石庭
 ・開館時間：午前9時から午後9時30分
 ・休館日：毎週月曜日 年末年始（12月29日～1月3日）
 ・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
施設補修件数		5	7	0
開館日数		308	293	293
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0
年間スタジオ利用者数		19,057	21,349	19,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	7,409	0	0	0	2,873	4,536	
06年度 実績	8,891	0	0	0	3,746	5,145	
07年度 当初	8,124	0	0	0	2,832	5,292	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 不具合発生件数は0件です。年間スタジオ利用者数は、昨年度と比較して2,292人増加しました。
 < 原因 > 不具合発生件数は、施設の点検、早期修理に努めた結果です。年間スタジオ利用者数の増加は、ヒップホップダンス等を習っている人の増加やイベント、コンテストに参加する団体の練習で多く利用されるようになったことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	218,185	222,453	122,000
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%	6.5	6.2	7.1
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円	28,356	29,494	35,121

事務事業名 松尾図書館施設管理事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	2189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾IT保健福祉センター2階施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適切な維持管理により、安全で快適に利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾IT保健福祉センター2階施設の利用者が、安全かつ快適に利用できるよう、施設の整備を行います。

<保守等委託業務>

- ・日常清掃業務委託：開館日183日（3時間/日）
- ・自動扉の保守点検：1回
- ・多目的トイレ自動ドアの保守点検：2回
- ・エレベーター保守点検：24時間対応、定期点検4回

<不具合、工事による休館>

- ・空調設備の不調：令和6年7月16日～9月30日
 - ・工事による休館：令和6年11月18日～令和7年6月30日
- 工事工期は手段・備考欄に記載

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
松尾図書館の修繕件数		4	2	7
成果状況				
松尾図書館の不具合件数		4	3	7
クレーム件数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	8,766	0	0	2,100	428	6,238	
06年度 実績	52,759	0	0	49,100	0	3,659	
07年度 当初	3,729	0	0	0	0	3,729	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 施設の管理のために、4件の業務委託を行いました。不具合は、3件発生し、うち1件は、点検作業を実施しましたが、施設全体に係る内容のため、当面は使用方法で対応します。また、当初予定していた空気調和設備工事の入札が不調となり、夏季の館内利用に対して安全性が見込めなかったため、臨時休館しました。その後、再度の入札により、令和7年6月30日までを工事期間とし、改修工事を行いました。

<原因> 平成16年に建設されてから20年が経過し、経年による機器の老朽化が不具合の発生原因と思われる。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	218,185	222,453	122,000
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%	6.5	6.2	7.1
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円	28,356	29,494	35,121

事務事業名 歴史民俗資料館管理運営事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 949

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

歴史民俗資料館・伊藤左千夫生家・茶室「唯真閣」・土蔵・収蔵歴史資料。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

歴史民俗資料館の効率的な維持管理・伊藤左千夫生家等関連施設及び収蔵歴史資料の適切な保存、活用を実施します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・令和6年度は開館日数291日、来館者数は3,219人でした。
- ・開館日に資料館・伊藤左千夫生家の清掃を行いました。
- ・収蔵資料の虫損防止のため燻蒸作業を7月に実施しました。
- ・空調設備保全のため8月に定期点検を実施しました。
- ・消防設備(2階の誘導灯と誘導標識)が3月に故障したので交換しました。
- ・防犯対策として夜間機械警備を通年実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
年間開館日数	日	266	291	290
成果状況				
年間来館者数	人	2,840	3,219	3,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,462	0	0	0	195	3,267	
06年度 実績	3,324	0	0	0	206	3,118	
07年度 当初	3,647	0	0	0	197	3,450	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度の入館者数は3,219人で令和5年度と比較して379人増加して順調です。
 < 原因 > 令和6年度の企画展の展示内容が、初公開となる市内の埴輪だったことにより市民や一般の方々の注目が集まり、入館者数の増加に繋がったものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数（全8項目）	項目	3.33	3.44	4
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	4,324	4,477	5,400

事務事業名 食虫植物群落保護管理事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 953

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」
見学者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

[維持管理]
 ・看視業務 4～8月末迄・毎日、秋期・土日祝日、冬期・週2回看視員を配置しました。
 ・管理業務 除草 野焼き等9回の植生維持作業を行いました。
 ・体験ボランティア 外来植物抜き取り作業にボランティア参加者を募り2回で5人が参加しました。
 ・保全業務 水位 水質 気温 地面の湿潤度調査を行いました。
 ・試験的な保護増殖の取組み(希少種の育成)を行いました。
 ・保存活用計画策定報告書を入稿しました。
 [活用]
 ・春 夏 秋の年間3回の観察会を行い161人が参加しました。
 ・夏休み親子教室を開催し7人が参加しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
予算等で計画した保護事業（作業等）の件数	回	9	9	9
見学者への対応	人	1,681	2,235	2,240
成果状況				
予算等で計画した保護事業（作業等）の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	1,681	2,235	2,240

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,829	530	66	0	1,233	0	
06年度 実績	1,639	431	54	0	1,154	0	469
07年度 当初	2,158	530	66	0	1,033	529	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 見学者が令和5年度より554人増加しており、順調です。
 < 原因 > 団体見学者数の増加が原因と考えられます、

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数（全8項目）	項目	3.33	3.44	4
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	4,324	4,477	5,400

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付しました。

研修生は、募集時に提出した作文及び面接により選考しました。

募集定員は15名（ほかに団長・随員各1名）

事前研修4回、事後研修1回実施

8月ニュージーランドに出発（期間6泊8日の予定でしたが、台風の影響で1泊短縮し5泊7日）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	10	7	7
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,221	0	0	0	3,541	680	
06年度 実績	4,368	0	0	0	4,162	206	
07年度 当初	4,852	0	0	0	1,500	3,352	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
国際感覚が身についたと思う参加者の割合は、令和5年度と同じ100%で順調です。
<原因>
事前研修、海外でのホームステイや研修で異文化の生活を体験したことで広い視野が身に付いたものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	912	1,658	2,553

事務事業名 スポーツ協会補助事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実		
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1187	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市スポーツ協会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市スポーツ協会の活動が活性化し、市内のスポーツ推進体制が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市スポーツ協会の運営に要する経費の補助をします。
 1. スポーツ協会の運営：年間事業に係る会議等を行います。
 総会(5月上旬)、理事会(年4回)、役員会(年4回)の開催
 2. 専門部の活動(18専門部)：各種大会出場、会議等を行います。
 前年度の活動実績により助成金を決定(5月)
 事業計画及び予算、助成金交付申請及び請求の受付(6月)
 実績報告(3月)
 3. 支部の活動(11支部)：支部事業、会議等を行います。
 助成金の支給(6月)、1支部5万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
主催・主管の大会・研修・講習会等に係る会議の開催回数	回	12	14	18
助成金を交付した加盟団体数	団体	29	29	29
成果状況				
主催・主管の大会・研修・講習会等の件数	件	1	1	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,672	0	0	0	0	3,672	
06年度 実績	3,590	0	0	0	0	3,590	
07年度 当初	3,630	0	0	0	0	3,630	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 市主催・スポーツ協会主管の「エンジョイスポーツin山武2024」を開催しました。また、山武郡市民スポーツ大会ではすべての専門部が参加できたことから事業成果は向上です。

< 原因 > スポーツ協会専門部の活動が活発になり、コロナ前と同様の運営が出来るようになったことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	7.1	6.6	10.1
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	76.2	72.7	69

事務事業名 蓮沼スポーツプラザ施設改修事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進		
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1983

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼スポーツプラザ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

蓮沼スポーツプラザの施設維持を実施するにあたり、施設内のエレベーター及び空気調和設備の整備工事、外周工事として屋根における改修工事を行ない、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼スポーツプラザについて、老朽化した施設内のエレベーター及び空気調和設備の整備工事、外周工事として屋根における改修工事を実施します。

- R 4 空気調和設備設計業務委託
屋根改修工事設計業務委託
昇降機準撤去新設工事（繰越明許）
- R 5 空気調和設備工事及び工事監理業務委託
- R 6 屋根改修工事及び工事監理業務委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
打合せ回数	回	3	3	0
成果状況				
改修進捗率	%	70	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	135,850	0	0	122,200	13,650	0	18,709
06年度 実績	67,131	0	0	60,400	6,731	0	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 改修工事が完了し、進捗率は100%となりました。
< 原因 > スケジュールを組み、監理業者・施工業者と調整を行いながら進めたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	120,787	125,696	124,000
公共施設維持管理費（社会体育施設分）	万円	8,742	8,257	12,279

事務事業名 成東総合運動公園施設改修事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	03	施策名	スポーツの振興
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東総合運動公園

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東総合運動公園の施設維持管理を実施するにあたり、老朽化した施設について改修工事を行うことにより、施設保全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

成東総合運動公園について、施設維持の健全化や利便性の向上を図るため、老朽化した施設について計画的に改修工事等を実施します。

令和6年度

- ・成東総合運動公園管理棟空調設備設置工事業務委託
- ・成東総合運動公園管理棟空調設備設置工事監理業務委託
- ・成東総合運動公園野球場照明外改修工事实施設計委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
委託業務発注件数		2	3	2
工事発注件数		1	1	2
成果状況				
改修進捗率		100	0	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	70,482	0	0	0	70,482	0	
06年度 実績	6,127	0	0	4,100	2,027	0	
07年度 当初	240,790	0	0	228,700	12,090	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 成東総合運動公園管理棟空調設備設置工事の工期は令和7年3月20日から令和7年8月31日です。
 < 原因 > 成東総合運動公園管理棟空調設備設置工事については平成13年の開園当初から使用しているもので、交換部品もなく修理が出来ないことから更新工事を実施するものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	120,787	125,696	124,000
公共施設維持管理費（社会体育施設分）	万円	8,742	8,257	12,279

事務事業名 さんぶの森体育施設等改修事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進	
計画年度	令和 06 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	2250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森体育施設等（さんぶの森中央体育館・武道館・野球場・多目的広場、さんぶの森ふれあい公園多目的広場・テニスコート、日向の森野球場・テニスコート）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森体育施設等の施設維持管理を実施するにあたり、老朽化した施設について改修工事等を行うことにより、施設保全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森体育施設等について、施設維持の健全化や利便性の向上を図るため、老朽化した施設について計画的に改修工事等を実施します。
 令和6年度 さんぶの森ふれあい公園地中埋設配線改修工事設計積算業務委託
 さんぶの森中央体育館屋根改修工事設計積算業務委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
委託件数			2	1
工事件数			0	1
成果状況				
単年度進捗率			100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	990	0	0	400	590	0	
07年度 当初	9,570	0	0	0	9,570	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 設計積算業務を2件実施し、進捗率は100%になりました。
 < 原因 > スケジュールを組み、設計業者と打ち合わせを行いながら業務を行ったことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	120,787	125,696	124,000
公共施設維持管理費（社会体育施設分）	万円	8,742	8,257	12,279

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園、私立保育園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子ども人権(CAP)に関する子ども向けプログラムおよび、教職員・保護者など大人を対象としたプログラムを市内各園(私立保育園含む)での実施を働きかけ、実施した際は講師費用等を負担します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
開催回数	回	22	14	12
成果状況				
延べ参加者数	人	309	194	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	751	0	0	0	0	751	
06年度 実績	475	0	0	0	0	475	
07年度 当初	500	0	0	0	0	500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 開催回数は令和5年度より8回減少しました。延べ参加者数は令和5年度より115名減少しました。令和6年度当初の延べ参加者数の計画に届かなかったため一部遅延ありとしました。
 < 原因 > 令和6年度から開催方法を変更し、市内を2グループに分けて隔年での実施に変更した影響によるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	25	26.5	25.1
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	7.5	9.4	8

事務事業名 人権相談事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	人権擁護の推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	207

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

人権が侵害されていると感じる人が減少します。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行います。
 ・相談所開設：原則毎月第1～4火曜日、市内4地区
 ・広報：相談所開設日の広報誌への掲載（毎月）
 ・啓発：人権週間中の啓発物品配布
 小学校での人権教室の開催

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
相談所開設回数	回	48	47	47
啓発活動の回数	回	1	1	2
成果状況				
人権が尊重されていると思う市民の割合	%	56	59.4	58.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	316	0	0	0	0	316	
06年度 実績	383	0	0	0	0	383	
07年度 当初	331	0	0	0	0	331	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 人権が尊重されていると思う市民の割合は、令和5年度と比較し3.4%向上となっております。
 < 原因 >
 人権相談について啓発活動及び研修活動を継続してきたことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
人権侵害に対する措置件数	件	1,449	1,311	800

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化	
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

事務事業の内容、やり方、手順

その地域の実情や特性に合わせて、区・自治会、各種地域団体、NPO法人、ボランティア団体、事業者及び市民等の様々な担い手が協力しながら、地域自らが地域課題に取り組む「地域まちづくり協議会」の設立準備、運営、活動に対し、人的支援及び財政的支援として、地域まちづくり支援員による運営サポート及び補助金を交付しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題が地域で解決されています。

【補助金交付団体】

- 蓮沼むらづくり協議会（蓮沼小学校）
- 山武西まちづくり協議会（旧山武西小学校区）
- 緑海まちづくり協議会（緑海小学校区）
- 山武北まちづくり協議会設立準備会（山武北小学校区）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
協議会への理解度	%	27.27	36.36	36.36
成果状況				
協議会数	区	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,411	0	0	0	2,742	1,669	
06年度 実績	3,980	0	0	0	3,078	902	
07年度 当初	5,950	0	0	0	2,925	3,025	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 協議会数は令和5年度と同数ですが協議会への理解度が向上しており、順調です。また、山武北まちづくり協議会設立準備会においては、地域に必要な取り組みを話し合う会議を重ねながら事業を実施し、正規協議会の設立に向けた活動が行われています。

< 原因 > 協議会への理解度が向上した要因としては、既存協議会が取り組む事業に関心を持つ山武北まちづくり協議会設立準備会が設立されたことにより関心が高まったものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	33.5	36.7	39
市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数	人	1,666	1,540	1,600

事務事業名 SDGs宣言制度導入事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	03	基本事業名	協働のまちづくり推進の仕組みづくり
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2176

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に事業所等を有する事業者

事務事業の内容、やり方、手順

市民や市内事業者が、自発的にSDGsに取り組むことを宣言し、その宣言内容を市ホームページ等で公表し、活動を支援する市独自のSDGs宣言制度を運用します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

SDGs達成に取り組む市民や事業者が増加し、持続可能なまちづくりが進み、地域に住まう誇りが醸成されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
セミナー等啓発活動件数		1	1	1
成果状況				
宣言者数		15	12	30
セミナー参加者数		26	0	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2	0	0	0	0	2	
06年度 実績							
07年度 当初	25	0	0	0	0	25	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 SDGsパートナー宣言制度の宣言者数は、前年度から3件減となりました。市外からの申請が散見されるのみで市内からの申請はありません。また、セミナーを開催しなかったことから、セミナー参加者はゼロであり、不調です。
 < 原因 >
 SDGsについて、注目度が下がっていることが原因と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数	回	5	10	25（年5回）

事務事業名 ホームページ運営事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	広報の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	91

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
山武市の情報を得ようとする人

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市政や行事等に関する情報が広く周知されています。
市の魅力が広く発信されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市民等に対し、電子媒体により条例や規則、市の施策、行事等に関することなどを掲載しています。担当課が告知内容を作成し、各課で掲載。秘書広報課では内容を定期的に確認しています。また、PRしたいイベントなどを画像を使って目立つように周知したり、ホームページのカテゴリー構造などをチェックしています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
更新件数（更新申請件数）	件	0	0	0
承認件数	件	1,045	1,194	1,200
成果状況				
市ホームページへのアクセス件数	件	384,016	361,171	400,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,097	0	0	0	310	787	
06年度 実績	1,097	0	0	0	320	777	
07年度 当初	1,065	0	0	0	240	825	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市ホームページのトップページへのアクセス件数は、令和5年度より22,845件減少しました。
<原因>
市公式LINEの登録者数が増加していることから、特に若年層などのモバイル端末を多く利用するユーザーが必要な情報をLINEで入手するようになり、その結果、トップページへのアクセスが減少していると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.8	87	91.2
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.2	88.3	90
ホームページ等のICTを活用した市からの情報提供に満足している市民割合	%	92.1	91.9	94

事務事業名 市勢要覧作成事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	広報の充実
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1820

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市外在住者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市の歴史・文化・産業等を紹介することにより、市政に対する理解や興味関心が得られます。

事務事業の内容、やり方、手順

市制施行20周年に合わせ、市の施策や魅力を市内外に広く発信することで、市への理解を深め興味関心を持ってもらうため、業務委託により市勢要覧を作成します。

- ・令和6年11月8日に公募型プロポーザル審査会を開催し、同月22日に株式会社エリート情報社と市勢要覧作成業務委託契約締結。（発行部数：A4版25P程度の冊子25,000部）
- ・契約期間は令和6年11月23日～令和8年2月27日
- ・契約金額は9,212,500円（うち8,217,000円をR7年度へ繰越明許）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
市勢要覧作成部数	部		0	24,000
成果状況				
市勢要覧配布割合	%		0	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	1,320	0	0	0	1,320	0	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
市制施行20周年の節目に、本市が有する自然や文化等の魅力を写真や文章で伝える市勢要覧を作成するため公募型プロポーザル方式により事業者を選定し契約を締結しました。なお、令和6年・7年度の2か年計画で作成します。
< 原因 >
作成途中のため、昨年度の完成実績はありません。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.8	87	91.2
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.2	88.3	90
ホームページ等のICTを活用した市からの情報提供に満足している市民割合	%	92.1	91.9	94

事務事業名 ふるさと納税推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	03	基本事業名	市の魅力発信の強化	
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 1099

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふるさと納税により本市へ寄附された方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

寄附者への返礼品送付を通じて本市の知名度向上、来訪への契機とします。
加えて、地場産品取り扱いによる地域活性化と自主財源の確保に貢献します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・ふるさと納税制度の仕組み、概要などをホームページに掲載し、広く寄附を募ります。
- ・寄附をいただいた方には、礼状を送付します。
- ・前年度の寄附状況及び運用状況について、9月にホームページに掲載します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
ポータルサイト登録数	サイト	14	17	17
返礼品数	品	289	514	450
成果状況				
寄附受入件数	件	3,147	8,405	7,000
寄附金額	千円	74,475	314,770	350,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	36,134	0	0	0	36,134	0	
06年度 実績	126,292	0	0	0	126,292	0	
07年度 当初	175,000	0	0	0	175,000	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 寄附受入件数は、令和5年度より5,258件増加し、寄附金額は240,295千円増加しており、順調です。
< 原因 > 新たな返礼品提供事業者を開拓し、返礼品の種類が増加したことが要因として挙げられます。また、魅力的な返礼品が数多く揃えられたことも大きく影響していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
SNS等による市からの情報発信件数	件	43,667	31,051	54,172
市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	人	5,181	10,042	5,230

事務事業名 さんむの魅力発信事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	03	基本事業名	市の魅力発信の強化
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2118

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市外在住者

事務事業の内容、やり方、手順

様々な媒体を通じて市の魅力を発信します。

X
YouTube
広報紙
市HP
LINE
安心安全メール
横断幕（首都圏連絡道陸橋）
報道機関（新聞等）
企画展示（地域のヒーロー展）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市の知名度や魅力度などが向上することで山武市への関心を惹起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加が図られます。また、市民のシティプライドの醸成が図られます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
情報発信に利用した媒体数		8	9	8
成果状況				
Twitterフォロワー数		709	122	300
Youtubeチャンネル公開動画視聴回数		43,317	30,661	40,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,514	0	0	0	0	1,514	
06年度 実績	1,233	0	0	0	0	1,233	
07年度 当初	1,406	0	0	0	0	1,406	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和 6 年度のXフォロワー数は前年度から587名減少、YouTubeチャンネルの公開動画視聴回数は12,656回減少しました。
< 原因 >
昨年8月に市公式Xの凍結によりフォロワー数がリセットしたこと(10月より新アカウントで運用)、YouTubeにおいては新規動画の投稿が減少 (R5:6本 R6:3本)したことが要因の一つとして考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
SNS等による市からの情報発信件数	件	43,667	31,051	54,172
市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	人	5,181	10,042	5,230

事務事業名 議会改革推進事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	04	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1964

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

議会改革に取り組むことで、議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・議会改革先進事例の提供
議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。
- ・議会運営効率化・公開に関する支援
議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開等に関して議会の依頼に応じ有益な情報を調査・提供します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	1	1	1
成果状況				
議会改革として取組をすることになった件数	件	0	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議会改革として取組をすることとなった件数は、1件です。
<原因> 議会基本条例の制定に向けた検討をしてまいりましたが、常任委員会の体制の変更を優先して行い、調査機能を向上すべきとされたため、令和6年度は常任委員会の体制を3常任委員会から2常任委員会へ変更する改革を行いました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	40.8	42.7	47
市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）	件	2,535	1,956	2,300

事務事業名 議場音響設備等改修事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	04	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	令和 06 年度 ~ 令和 06 年度		事務事業整理番号 2257

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
議員
市職員

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した本庁舎議場の音響設備及び映像関連機器等の改修を行いました。
 主な改修機器：制御機器収納架一式、操作卓機器（システム）、議場内マイク、議場内カメラ
 改修スケジュール
 契約締結 令和6年3月28日
 工事着手 令和6年3月29日
 工事完了 令和6年11月8日
 本格運用 令和6年第4回定例会～

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

円滑な議会運営が図られるとともに議場の映像や音声を鮮明に収録・記録し適切に配信することで議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
工事件数	件	0	1	0
成果状況				
工事の達成率	%	0	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	495	0	0	0	0	495	
06年度 実績	60,638	0	0	57,400	3,238	0	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議場音響設備等改修工事は、令和6年11月8日に完了し、工事達成率は100%となりました。第4回定例会から本格運用が開始され、議場の映像や音声が鮮明となったほか、電子採決システムの導入により、議会の透明性が確保されました。

<原因> 工期どおりに完了し、議場内設備の改善と配信環境が向上したことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	40.8	42.7	47
市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）	件	2,535	1,956	2,300

事務事業名 行政評価制度推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・総合計画に定める体系（政策 - 施策 - 基本事業 - 事務事業）
- ・職員
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。
- ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。
- ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。

【令和6年度】

- 4月 まちづくりアンケートの実施
- 4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（スプリングレビュー）
- 7月～ 事務事業評価（サマレビュー）
- 9月～ 成果志向型予算編成の実施
- 12月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定
- 2月 実施計画の策定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
説明会・研修会の実施回数	回	3	3	2
評価・点検を実施した事務事業数	事業	235	206	200
成果状況				
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	54.4	59.7	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	5,447	0	0	0	0	5,447	
06年度 実績	4,879	0	0	0	0	4,879	
07年度 当初	5,701	0	0	0	0	5,701	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
行政評価制度を意識して事務事業を進めている職員の割合が、前年度から5.3ポイント増加しており順調です。
<原因>
行政評価の進め方研修会や点検会の実施などにより、行政評価制度が職員に浸透してきたことが原因とと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
基本事業の目標達成率	%	28.3	35.1	70
PDCAサイクルを意識している職員の割合	%	54.4	59.7	66.7

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 17

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多様化、高度化する行政ニーズに対する確に対応する職員を育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1) 研修機関で実施する研修
山武都市広域行政組合
千葉県自治研修センター
市町村アカデミーなど
- (2) 内部研修
年間2回の内部研修
新規採用職員等研修など

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
実施する研修の数	回	65	59	50
成果状況				
職員一人当りの研修受講回数	回数	1.3	1.2	
多様化、高度化する行政ニーズに対する確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合	%			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,205	0	0	0	3	1,202	
06年度 実績	1,150	0	0	0	0	1,150	
07年度 当初	2,922	0	0	0	2	2,920	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 職員一人当りの研修受講回数は、令和5年度に比べ0.1ポイント減少したが順調である。
< 原因 > 内部研修として危機管理研修を実施するにあたり積極的な参加を呼びかけたことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・目標設定及び評価調整会議及び期首期末面談等を行い人事評価の精度向上を図り、評価結果を処遇に反映させていきます。
- ・評価者と被評価者の面談を通じて課内のコミュニケーションを促進し、変化、改革を求められる時代のニーズにチーム対応していきます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
研修会開催回数	回	1	1	
成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	85	97	
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	52	65	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、令和5年度より12ポイント増加し、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合も13ポイント増加しました。
 < 原因 > 人事評価制度の仕組みや制度については引き続き研修を実施していき、適正運用については調整会議等を実施することや人事評価制度の見直しをすることで適正化に努めます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 組織体制見直し事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 23

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員・市民

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。
- ・組織改編に向けて各部署のヒアリング実施します。
- ・大幅な組織の見直しを行う際は、組織モデル案を作成し、庁議及び議会へ報告します。
- ・関係する例規を整備します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市が直面する喫緊の課題に機動的に対応できます。
- ・市民に対して効率的な行政サービスが提供できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
組織体制見直しに係る打合せ回数	回	11	11	1
成果状況				
組織及び事務分掌の見直し回数	回	1	1	1
効果的効率的な組織編成（課や事務分掌）ができていると思う職員の割合	%	66.7	69.7	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 効果的効率的な組織編成ができていると思う職員の割合は、3ポイント向上しました。
 < 原因 > 令和6年4月1日付けの組織改編は、企画政策課と農政課に係を新設するものなどでした。これらの効果が定着したものとされます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
 ・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
 ・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。

スケジュール
 4月 退職勧奨制度の周知
 5月 職員採用計画
 6月 地方公共団体定員管理調査
 11月 人事に関する各部・各課ヒアリング 再任用意向調査
 3月 定年延長意向調査 職員配置の決定、

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
各部・各課ヒアリング回数	日	7	7	7
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	5	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和7年度の当初の定員適正化計画の目標定数453人に対して実績は451人で2人少ない状況となっています。
 < 原因 > 定員適正化計画の令和5年以降の10年間は、定年延長の影響により退職者が1年置きとなることから、採用者を平準化するために定員数が1年毎に増減するような計画となっています。令和6年度末については、定年延長を望まない職員が多数いたことから、退職者分を補充することとなり、組織変更の影響もありましたが職員数の差が減少しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1962

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

事務事業の内容、やり方、手順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性の育児参加休暇等の取得推進。
- ・ノー残業デーの設定定着の推進。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境を整備し全ての職員が持てる力を職務遂行に十分発揮し活躍できるようにします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
休暇・休業制度に関して行った通知等の回数	回	2	3	2
成果状況				
年次休暇の平均取得日数	日	13.2	12.6	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 年次休暇平均取得日数は、令和5年度から0.6日減少しています。
 < 原因 > 令和6年度より夏季休暇の取得期間が6月から10月と1月延長されたことにより、10月の休暇を夏季休暇により対応する職員が多くなり有休休暇の取得割合が減少しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 受付案内事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	令和 02 年度 ~	年度		事務事業整理番号	2138

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎に来庁した方からの問合せに対し、受付窓口において適正な案内を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁した方が、目的の部署まで迷うことなく行くことが出来ます。職員の窓口対応の負担軽減が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

次の業務を外部委託により実施します。
 ・来庁者への応接業務（積極的な用件伺い、挨拶、声かけ等）
 ・各窓口・諸室等の位置、行き先に関する案内
 ・広報紙の掲載記事に関する情報提供
 ・総合窓口等における諸証明等発行事務補助
 ・正面玄関周辺の衛生管理（清掃・消毒等）
 ・案内看板等の出し入れ 等

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
窓口案内者数	人	11,828	13,195	13,500
成果状況				
案内によって生じた苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,942	0	0	0	0	1,942	
06年度 実績	2,177	0	0	0	0	2,177	
07年度 当初	2,178	0	0	0	0	2,178	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 本庁舎の来訪者の案内によって生じた苦情件数は、0件でした。
 < 原因 > 案内業務をシルバー人材センターに委託しているところ、適正に受付案内業務が行われているものと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%	65.7	65	59
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%	75.7	81.8	79
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	76.1	72.5	74

事務事業名 指定管理者指定事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行います。

【令和 6 年度計画】

下記施設について、指定管理者の指定を行います。

- ・自転車等駐車場（7ヶ所）
- ・さんぶの森元気館

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
選定委員会開催数	回	0	2	2
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	29	28	28

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	0	0	0	0	0	0	
06年度 実績	52	0	0	0	0	52	
07年度 当初	53	0	0	0	0	53	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
前年度から 1 施設減の 28 施設において指定管理者制度が導入されています。
< 原因 >
松尾駅前駐車場が廃止されたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
経常収支比率	%	94.8	93.6	95
実質公債費比率	%	6.1	7.1	10
経常経費に占める一般財源の割合	%	75.6	73.6	77

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 155

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計、特別会計及び企業会計

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行います。予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成します。

8月 投資的事業の要求内容確認（サマーレビュー）
 9月 予算仮要求（経常的経費、投資的事業）
 10月 予算要求説明会、予算本要求
 11月 資源配分会議等による予算の調整
 12月 市長査定
 2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
評価・点検をした事務事業数	事業	235	715	500
成果状況				
当初予算額（特定財源を含む）	百万円	22,820	25,820	26,390

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > サマー要求時スクラップ財源提示やシーリング率の部別傾斜配分、統合ヒアリングの全事業点検などの予算削減策を実施したものの、令和7年度一般会計当初予算額は、263億9千万円で、過去最大を更新しました。

< 原因 > 物価及び労務単価の上昇により、投資的経費や物件費等の経費が増加し、予算規模が大きくなっています。部枠シーリングによる予算の圧縮では対応しきれないことから、施設や事業の統廃合などの抜本的な改革を進める必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
経常収支比率	%	94.8	93.6	95
実質公債費比率	%	6.1	7.1	10
経常経費に占める一般財源の割合	%	75.6	73.6	77

事務事業名 基金管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 159

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

財政調整基金 その他の基金

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金を計画的に有利な条件で運用し、利子の積み立てを行います。また急な支出への対応を行います。

5/27入力時 剰余金財調積み戻し額は未計上

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的として基金が積み立てられています。 また、庁舎整備の財源として利用することを目的とした基金等が積み立てられています。
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
基金取崩し額（単年度）	百万円	1,308	1,911	2,688
基金積立額（単年度）	百万円	578	1,627	285
成果状況				
財政調整基金残高	百万円	5,216	4,637	3,421

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	197,701	0	0	0	108,639	89,062	
06年度 実績	1,112,468	0	0	0	242,492	869,976	
07年度 当初	284,465	0	0	0	262,952	21,513	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 令和6年度末の財政調整基金残高は、約46億37百万円で、前年度末と比べ約5億79百万円（11.1%）減少しており、長期財政推計上残高の約56億円を大きく下回り、非常に厳しい状況です。なお、金利の上昇により、基金運用益は増加傾向にあります。</p> <p>< 原因 > 物価、労務単価の上昇により、大型事業等投資事業費用や物件費等の経費が増加しており、財源不足を補うため、財調等基金繰入額が見込みより増額していることが原因です。</p>

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
経常収支比率	%	94.8	93.6	95
実質公債費比率	%	6.1	7.1	10
経常経費に占める一般財源の割合	%	75.6	73.6	77

事務事業名 滞納整理事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	248

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

滞納者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

滞納者の未納が解消または縮減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

・滞納者に対して、納税催告（文書、電話、SMS）等の滞納整理を早期に着手し、未納額の縮減を図りました。
 ・分納計画等の不履行者や納税意思のない者などの滞納者に対して、滞納処分を執行しました。
 ・処分可能な財産の有無を調査し、納税資力のない者は、執行停止の処分を行いました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
納税催告送付件数	件数	5,731	6,930	10,000
滞納処分決議数	件数	242	361	240
成果状況				
市税収納率（現年度）	%	98.09	98.2	98.65
市税収納率（過年度）	%	18.65	23.84	22

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	2,822	0	0	0	0	2,822	
06年度 実績	2,614	0	0	0	0	2,614	
07年度 当初	2,815	0	0	0	2	2,813	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 収納率は、現年度は0.11%、過年度は5.19%増加しました。
 < 原因 > 自動音声電話催告及び預貯金等の電子照会の活用により事務が効率化された事で、催告が徹底され、また、滞納処分の執行が増加し、収納率の増加に繋がったものと考えます。特に過年度の収納率が大幅に増加し順調であると言えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市税収納率	%	98.09	98.2	98.8

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
 収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア等

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進します。（口座振替やコンビニエンス等での納付）
 ・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発生し納付を促します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まります。

当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納付等のご案内を同封しお知らせします。
 防災行政無線及び広報さんむ等で周知します。
 納税義務者が口座振替、コンビニ納付及びQRコード利用（クレジットカード払いをのぞく）納付をした場合の手数料は無料です。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
納期内納付啓発回数	回	12	12	12
口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ数	人	42,051	46,472	50,000
成果状況				
督促状発送件数	件	19,792	19,480	20,000
口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合	%	57.9	58.5	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	11,935	0	0	0	0	11,935	
06年度 実績	11,302	0	0	0	0	11,302	
07年度 当初	27,294	0	0	0	0	27,294	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度と比較して、督促状発送件数は312件減少しました。また、口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合は0.6%向上しました。
 < 原因 >
 固定資産税と軽自動車税において、QRコードを利用した支払いが可能となったことから、納税者の利便性が向上し督促状の発送件数が減少したと考えられます。また、口座振替について広報さんむや市ホームページでの継続的に広報や、国民健康保険加入手続き時に振替口座登録を推進したことにより市税収納割合が向上したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市税収納率	%	98.09	98.2	98.8

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
- ・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
- ・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。

【事業内容】
平成28年度～平成30年度 保全情報システム更新・運用
平成30年度～令和2年度 公共施設個別施設計画策定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
維持管理費削減に係る取組数	件	87	87	
成果状況				
公共施設維持管理費	千円	1,756,136	1,720,251	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	
06年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	
07年度 当初	1,166	0	0	0	0	1,166	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
公共施設維持管理費は、1,720,251千円で、前年度と比較して35,885千円減少しており順調です。
<原因>
小中学校の施設修繕費用が減少したことが主な要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%	51.9	50	50
公共施設維持管理費	万円	175,614	172,025	165,221

事務事業名 本庁舎整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1471

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われるとともに、施設利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

施設利用者の利便性向上のため、本庁舎施設の環境整備を行います。また、本庁舎施設の老朽箇所や不良箇所の整備を計画的に行うことで、本庁舎施設の省エネ化や長寿命化を図ります。
 平成27年度 本館空調設備改修・本庁舎駐車場等新設工事
 平成28年度 本庁舎駐車場等改修工事・電話設備機器改修工事
 令和元年度 喫煙所設置工事（繰越明許）
 令和3年度 本庁舎受変電設備等改修工事
 令和5～6年度 本庁舎浄化槽改修工事（繰越明許）
 令和6年度 本庁舎等照明設備改修・電話交換機改修工事
 令和7年度 本庁舎等屋上防水及び外壁改修工事実施設計
 令和8年度 本庁舎等屋上防水及び外壁改修工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
打ち合わせ回数	回	1	90	2
成果状況				
整備した面積	m ²	0	9,793.7	6,221.37

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	72,081	0	0	68,000	3,654	427	
06年度 実績	57,742	0	0	54,800	2,942	0	124,016
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和6年度に実施した本庁舎浄化槽改修工事、本庁舎外照明設備改修工事及び本庁舎電話交換機改修工事は、いずれも予定どおり年度内に工事が完了しており、順調です。
 < 原因 > 工事施工業者及び工事監理業者との打ち合わせを綿密に実施し、工事の進捗状況等を適切に把握しながら工事を進めたことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%	51.9	50	50
公共施設維持管理費	万円	175,614	172,025	165,221

事務事業名 庁用車適正配置事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1578

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員 庁用車

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

庁用車が各部に適正に配置されています。 庁用車の環境負荷が低減しています。
--

事務事業の内容、やり方、手順

保有する庁用車を最大限有効活用するために必要な調査を行い、利用状況に応じた配車を行います。 また、新規登録から13年を経過している庁用車については、適宜、環境負荷の少ない車両へ買い替えを行っていきます。 ・庁用車の利用状況調査等 ・環境負荷の少ない車両への買い替え 令和6年度は、新規登録から19年以上経過した普通自動車1台を廃車し、新規に普通自動車1台を購入します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
新車購入台数	台	0	1	1
廃車台数	台	1	1	1
成果状況				
公用車1台に対する職員数	人	4.57	4.73	4.72
共用車の稼働率	%	62.6	63	62.8

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,636	0	0	0	0	1,636	
06年度 実績	3,685	0	0	0	0	3,685	
07年度 当初	5,897	0	0	0	0	5,897	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 公用車1台に対する職員数は、4.73人/台で、前年度と比較して0.16人/台の微増、共用車の稼働率は、63.0%で、前年度と比較して0.4%の微増となりましたが、全体的な傾向はほぼ横ばいです。 < 原因 > 公用車の保有台数（市職員が日常的に使用する車両で専用又は特殊な用途に使用する車両は除く）は、前年度と比較して2台減少しており、少しずつ公用車の適正配置は進んでいますが、対象となる職員数及び車両台数が多いため数値は横ばいとなっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	51.9	50	50
公共施設維持管理費	万円	175,614	172,025	165,221

事務事業名 さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 22 年度 ~	年度	事務事業整理番号 1198

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
さんぶの森交流センターあららぎ館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民や市民活動団体の活動する場が確保され、自主的な活動が活発になります。
適切な施設管理がされ、安全かつ快適に利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
・多目的室：1（やまゆり）、2（のぎく）、3（ひまわり）、4（ききょう）、5（あかぐも）、6（りんかん）
合計6室
・調理実演室
・ジャイアントシェルター棟
・駐車場
・開館時間：午前9時から午後5時まで
・休館日：毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日
・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理は業者委託で対応しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
交流センター利用回数	回	573	624	500
成果状況				
交流センター利用者数	人	11,669	13,417	9,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	9,032	0	0	0	366	8,666	
06年度 実績	13,750	0	0	0	431	13,319	
07年度 当初	14,151	0	0	0	357	13,794	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和6年度のあららぎ館利用回数は、前年度と比較して51件増加、利用者数は1,748人増加しました。
<原因>
10月と3月に選挙があり、期日前投票及び当日の投票所として利用されたことが増加の原因と考えられます。また、令和5年度から引き続き産業まつりの会場となったことにより、11月の利用者数は突出しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	51.9	50	50
公共施設維持管理費	万円	175,614	172,025	165,221

事務事業名 蓮沼出張所管理運営事業

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 180

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

施設利用者、蓮沼出張所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設の適切な維持管理が行われ、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼出張所の維持管理業務を行います。
 消防設備保守点検委託
 清掃委託（日常清掃・床及び窓ガラス清掃）
 自動車保守点検委託
 貯水槽清掃委託
 警備委託
 浄化槽管理委託
 空調機器清掃委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
庁舎施設の修繕件数	数	3	6	2
成果状況				
庁舎施設の不具合件数	数	3	6	2
トラブル件数	数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	3,630	0	0	0	61	3,569	
06年度 実績	4,325	0	0	0	25	4,300	
07年度 当初	5,075	0	0	0	4	5,071	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 非常用発電機、エアコン集中リモコン、天井点検口、ドアクローザー、女子トイレ個室ドア、駐車場の一部に不具合が生じ、計6件修繕を行いました。
 < 原因 > 昭和62年竣工の施設のため、経年劣化により修繕が発生しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	51.9	50	50
公共施設維持管理費	万円	175,614	172,025	165,221

事務事業名 情報通信機器管理事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	06	基本事業名	自治体DXの推進と市民サービスの向上
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	140

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員
情報通信機器
(サーバ、パソコン、プリンター)

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

情報通信機器が安定稼働しています。

事務事業の内容、やり方、手順

情報通信機器が効率的に安定稼働する為の管理運用を行いました。

- ・機器の導入準備 仕様、数量の検討
- ・機器の運用管理 保守（予防保守、障害対応、修繕）
運用（セキュリティ対策、メンテナンス、最適化）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
機器保守点検回数	回	245	245	245
成果状況				
業者対応障害発生件数	件	23	23	25

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	47,938	0	0	0	0	47,938	
06年度 実績	117,615	0	0	0	0	117,615	
07年度 当初	113,142	0	0	28,600	1,581	82,961	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
業者対応障害発生件数は、23件と前年度比同件数でした。
主な障害内容はプリンターの故障等比較的軽微で、サーバ等の重要機器については重大な障害はありませんでした。
<原因>
プリンターの故障は経年劣化が原因と考えられるため、順次更新が必要になります。サーバ等の重要機器については、毎日の点検により予備保守を実施したことから重大な障害発生はなかったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民の割合	%	46.5	45.3	50.5
ICTを活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数（計画期間累計）	件	11	32	40

事務事業名 例規・法制支援事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1476

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員、市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

例規の制定改廃にかかる職員の事務の合理化、省力化を図ります。
また、条例・規則等の制定、改正等を適正に行い、事務の公正の確保と透明性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

例規立案、例規集の作成及び既存例規データ更新等に関する業務を委託により実施します。
（業務内容）
・制定改廃した例規を既存の例規集に溶け込ませ、データベースを更新する。（年4回）
・法令・判例情報の提供（随時）
・法制執務に係る相談（随時）
・例規起案ソフトによる例規立案支援（随時）
市が行う各種行政手続について、標準処理期間や申請書、必要添付書類等の整理を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
例規データベース更新回数	回	4	4	4
例規制定改廃件数	件	198	210	150
成果状況				
例規データ更新スケジュール順守率	%	100	100	100
例規改正漏れ件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	4,317	0	0	0	0	4,317	
06年度 実績	4,423	0	0	0	0	4,423	
07年度 当初	4,423	0	0	0	0	4,423	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 例規データ更新スケジュール順守率は、100%でした。
< 原因 > 最新法令の情報収集や例規改正手続など、例規支援システムの活用によって効率的に事務が進められているものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値

事務事業名 出納係事務費

会計課 会計課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	01	基本事業名	適正な会計処理	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 666

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・債権者 ・会計業務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

債権者に対する公金の支払いが確実に Rowe れます。

事務事業の内容、やり方、手順

<p>支出負担行為の確認及び支出命令の審査を行い、適正な会計処理を行いました。口座振替払では「LGMAN振込データ伝送サービス」を利用し支払いの手続きを行いました。</p> <p>【振込処理不能が発生した場合の処理】 （指定金融機関）振込組戻通知書（会計課）連絡（所管部署） 同日13時までには正当な債権者情報が確認できたものは、指定金融機関に対し再振込の依頼を行いました。 確認ができないものは、戻入の手続きを行い、再振込の手続きを行いました。</p>

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
口座振替期日における指定金融機関からの振込不能返却報告書に基づく債権者への振込不能件数	件	166	149	165
口座振込不能により資金返却された件数のうち、同日に再振込の措置を講じ、正当債権者に支払が行われた件数	件	128	101	135
成果状況				
口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に再度振込し債権者に支払うことができた件数の割合	%	77	68	82
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	10,649	0	1,028	0	57	9,564	
06年度 実績	12,843	0	953	0	62	11,828	
07年度 当初	18,615	0	896	0	59	17,660	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 同日に再度振込を行い支払いができた件数の割合が、令和5年度より9ポイント低下しました。 < 原因 > その理由としては、防犯上の理由から自宅の電話に出ない方が増えていることなどにより、当日中に振込相手方と連絡をとり、正しい振込先を確認することが難しくなっていることが考えられます。</p>
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
例月現金出納検査の指摘事項件数	件	37	22	25

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計
特別会計
企業会計
市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。 1 例月現金出納検査...現金の残高や出納事務が適正に行われているかどうかを主眼として実施 2 決算審査、基金運用状況審査...決算の計数の正確性や事業の経営が適正に行われているかどうかを主眼として実施 3 健全化判断比率等審査...健全化判断比率及び資金不足比率並びに書類の係数が適正かどうかを主眼として実施 4 定期監査...財務の執行や事業の管理が適正に行われているかどうかを主眼として実施 5 工事監査...技術面の調査を技術士に委託して実施
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
監査等を実施した件数	件	5	5	5
成果状況				
指摘事項等の件数	件	71	67	67
計画に対する監査等実施率	%	83.3	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	1,071	0	0	0	0	1,071	
06年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
07年度 当初	1,102	0	0	0	0	1,102	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 指摘事項等の件数は、前年度と比較して4件減少しました。また、計画に対する監査等実施率は100%となり、順調です。
< 原因 > 監査計画に基づき入念に準備し、監査等を実施しました。各監査等において、是正すべき点を明確にすることで事務が適正に行われるようになります。なお、指摘事項等はすべて措置が講じられています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
監査による指摘事項等の措置率	%	100	100	100

事務事業名 戸籍事務費

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

戸籍の届出者及び証明書申請者

事務事業の内容、やり方、手順

出生・死亡・婚姻・離婚等の届出書の受付・審査、戸籍の証明書発行、犯歴・刑罰・身上照会に関する事務を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁目的を的確に把握し、交付証明書及び届出書の行き違いをなくします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
それぞれの届出書件数および証明書交付件数ならびに照会件数	件	22,510	19,149	20,000
成果状況				
届出書、交付証明書の不具合件数の割合	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	318	0	48	0	270	0	
06年度 実績	203	0	45	0	158	0	
07年度 当初	23,609	23,146	47	0	400	16	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 届書受付および交付証明書の交付は順調です。
 < 原因 > 聞き取り等により来庁目的を明確に把握し行き違いが生じないように行いました。係員は研修会に参加し、自己研鑽に努め、課内で業務内容の情報共有を行い、窓口業務のサービス向上を図りました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件	0	0	0

事務事業名 窓口サービス向上事業

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

窓口サービス利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

窓口での手続きの円滑化と時間短縮が図られ、窓口サービスの満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

正確でわかりやすい手続き等を提供するために、コンビニ交付対応行政キオスク端末を本庁舎ロビーに設置し、申請書作成支援システムをマイナンバー担当窓口、国保年金課窓口、社会福祉課窓口に設置し、窓口での手続きを簡素化しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
窓口サービス向上に係る取組の検討件数	件	2	2	1
成果状況				
窓口サービス向上に係る取組の導入件数	件	2	2	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績							
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 窓口サービス向上に係る取組の導入件数は、2件です。
 < 原因 > 導入したシステムを利用することで証明書の誤交付や申請書の記載誤りが回避でき、申請に要する時間が短縮され窓口サービスが向上しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件	0	0	0

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	218

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 52件 諸証明交付 1,803件
 ・住民基本台帳に関する届出 499件 諸証明交付 3,248件
 ・マイナンバーカード交付申請等 801件
 ・印鑑登録 376件 印鑑証明交付 2,868件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,167件
 ・各種税関係申請等の收受及び諸証明交付 1,667件
 ・市税等の収納 6,278件 ごみ袋販売 171件
 ・障害者福祉等に関する届出 1,080件
 ・児童手当等に関する届出 104件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 265件
 ・交通災害共済の申請 86件 緑の羽根募金の受付 61件
 ・その他の申請及び届出 233件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
窓口サービス取扱件数	件	20,434	20,759	19,000
成果状況				
出張所利用者数	人	16,165	16,618	15,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	376	0	0	0	376	0	
06年度 実績	430	0	0	0	430	0	
07年度 当初	445	0	0	0	445	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 令和6年度の窓口業務取扱件数は、前年度より325件(1.6%)増加、利用者数は453人(2.8%)増加となりました。
 < 原因 >
 令和6年度から開始した戸籍証明書の広域交付や、外国人の転入手続き、マイナンバーカードの電子証明書の更新件数の増加により申請数が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件	0	0	0

事務事業名 蓮沼出張所事務費

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	217	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出149件 ・諸証明交付524件
 ・住民基本台帳に関する届出750件 ・諸証明交付606件
 ・マイナンバーカード交付申請等155件
 ・印鑑登録56件 ・印鑑証明交付629件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出1251件
 ・各種税関係申請等の收受411件 ・諸証明交付250件
 ・市税等の収納1980件 ・ごみ袋販売81件
 ・障害者福祉等に関する届出216件
 ・児童手当等に関する届出22件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出98件
 ・交通災害共済の加入申込42件 ・緑の羽根募金の受付22件
 ・その他申請及び届出188件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・証明書の交付等の窓口サービスを出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
窓口サービス取扱件数	件	8,622	7,430	8,263
成果状況				
出張所利用者数	人	7,130	6,025	6,765

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	105	0	0	0	105	0	
06年度 実績	217	0	0	0	217	0	
07年度 当初	167	0	0	0	167	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 窓口サービスの取扱件数及び出張所利用者数ともに減少傾向にありますが、福祉関連業務には時間を要します。またマイナンバーカード関連業務（更新や特例転入等）は増加傾向にあり、特に特例転入は付随する手続きも多く時間を要しています。
 < 原因 > コンビニでの納付やマイナンバーカードを利用しての証明書の交付、地域の人口減少等により、一定数の方の出張所利用はありますが、全体的に利用者数が減少していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件	0	0	0

事務事業名 松尾出張所事務費

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 128件 諸証明交付 1,465件
・住民基本台帳に関する届出 314件 諸証明交付 1,439件
・マイナンバーカード交付申請等 459件
・印鑑登録 123件 印鑑証明交付 1,185件
・国保・後期高齢・年金に関する届出 852件
・各種税関係申請等の收受 269件 諸証明交付 835件
・市税等の収納 3,506件・ごみ袋販売 101件
・障害者福祉等に関わる届出 930件
・児童手当等に関する届出 102件
・要介護及び要支援認定等に関する届出 441件
・交通災害共済の申請 116件・緑の羽根募金の受付 30件
・その他の申請及び届出 169件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
窓口サービス取扱件数	件	13,645	12,464	11,200
成果状況				
出張所利用者数	人	10,790	9,901	9,000
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	388	0	0	0	388	0	
06年度 実績	663	0	0	0	663	0	
07年度 当初	576	0	0	0	576	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 松尾出張所の窓口サービス取扱件数は前年度と比較して1,181件、利用者は889人減少しています。窓口サービス件数、利用者共に減少が続いていますが、時間が掛かる業務が増加しています。
<原因> 件数と利用者の減少については、人口減少、マイナンバーカード利用により、コンビニでの証明書交付の影響によるものと考えられます。時間の掛かる業務の増加については、外国人の増加とマイナンバーカードの普及により、マイナンバー関連業務が増加している事が、原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件	0	0	0

事務事業名 個人住民税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 233

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有する個人
市内に事務所、事業所又は家屋敷を有する個人で市内に住所を有しない者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公平かつ適正な課税を実施することにより、納税意欲高揚を図り、収納率の向上を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

当該年分の所得に係る所得税確定申告、住民税申告並びに給与・年金支払報告書等の所得等データにより個人住民税を課税します。
税制改正点について市民へ周知の徹底を図ります。
給与特別徴収納期限 毎月10日
普通徴収第1期納期限 6月末・第2期納期限 8月末
第3期納期限 10月末・第4期納期限 翌年1月末
年金特別徴収については、4月、6月、8月、10月、12月、2月の年金支給時。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
納税義務者数	人	24,852	25,054	24,378
申告書処理件数	件	12,196	13,923	13,348
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
電子申告の割合	%	33.91	30.82	31.76

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	9,873	0	9,873	0	0	0	
06年度 実績	9,620	0	9,620	0	0	0	1,595
07年度 当初	12,530	0	12,530	0	0	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 前年度に比べ、3.09%低下しました。
<原因> 所得税確定申告に対する電子申告数は増加しているが、定額減税等の影響により所得税確定申告者数が減少し、電子申告未対応の住民税申告者が増加したことによりです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

事務事業名 固定資産税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税
計画年度	昭和 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 236

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に固定資産（土地・家屋・償却資産）を有する納税義務者
（地方税法第343条に基づく）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

固定資産税が法令に基づき適正で公平な課税が行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

土地の現況調査、法務局からの税務通知による異動処理（土地・家屋）、償却資産の申告事務により課税データの整備、賦課を実施します。
土地 233,501筆
家屋 42,737棟
償却資産 1,391人

第1期納期限 5月末日
第2期納期限 7月末日
第3期納期限 9月末日
第4期納期限 12月末日

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
土地異動処理件数	件	9,119	9,325	8,000
現況調査家屋数	棟	386	361	400
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
新增築家屋の評価棟数	棟	195	170	180

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績	5,250	0	0	0	0	5,250	
06年度 実績	5,530	0	0	0	0	5,530	
07年度 当初	6,586	0	0	0	0	6,586	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
固定資産評価審査委員会への審査申立による更正件数は0件であり順調です。
新增築家屋の評価棟数は、市内で新築家屋棟数が減少しており、現年課税分を含め減少しました。
<原因>
固定資産審査委員会への審査申立がなかったことの原因として、課税台帳の登録が適切であるためと思われます。また、家屋の評価棟数減少は、人口減少などの社会的な要因から減少したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

事務事業名 定額減税調整給付金給付事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	99	政策名	総合推進
施策番号	01	施策名	政策の総合推進
基本事業番号	01	基本事業名	総合推進
計画年度	令和 06 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2281

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

支給対象者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定額減税しきれないと見込まれる方への調整交付金が適正に支給され、家計への負担が軽減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

当初調整給付の算定に際し、令和5年所得等を基にした推計額（令和6年分推計所得額）を用いて算定したことなどにより、令和6年分所得税及び低額減税の実績額等が確定したのちに、本来給付すべき所要額と、当初給付額との間で差額が生じた者に不足額給付を行います。なお、実施主体の決定日は個人住民税の賦課期日である令和7年1月1日と設定することとしています。

<支給額>
定額減税しきれない額（1人あたり最大4万円）
1万円単位で切り上げて支給
<対象者数>
8,915人

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	05年度	06年度	07年度
対象者数			8,915	1,000
成果状況				
給付率			97.43	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
05年度 実績							
06年度 実績	372,823	0	0	0	0	372,823	
07年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

06年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 給付率は、97.43%であり、順調に給付金が支給されました。
<原因> 従来の申請方式に加えて、マイナンバーカードと口座情報がひもづけされた方へのプッシュ方式を導入したことにより、迅速かつ正確に支給事務を進めることが出来ました。勧奨通知を2回実施したことで、給付率のアップにつながりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	05年度	06年度	めざそう値

